

失
わ
れ
た

ペン
ダ
ント



モノクロ漫画

138p
本編125p

ペンダントの導く先に…



登場人物

河野

広告代理店に勤める。
やり手だがかなりの女たらし。
唯花の大学時代の片思いの相手。
サークルOB会の後、唯花を弄んだ。

茜

河野のセフレ。
河野と唯花のアリバイ作りに加担

桜坂 唯花

社会人一年生。
拓也と今春から同棲中。
大学時代、河野に一目惚れし、以後2年間、片思いを
続けていた。
サークルOB会の後、河野と一夜を過ごしてしまう。

岬 拓也

社会人一年生。
唯花と同棲中。
あの夜の唯花を疑っているが何も聞
けないでいる。

桜坂唯花は、今年の春から大学時代からの恋人、拓哉とのラブラブな同棲生活を送っていた。ある日、拓哉から付き合った記念日ということでペンダントをプレゼントされる。ペンダントにはお守りの意味もあるという。

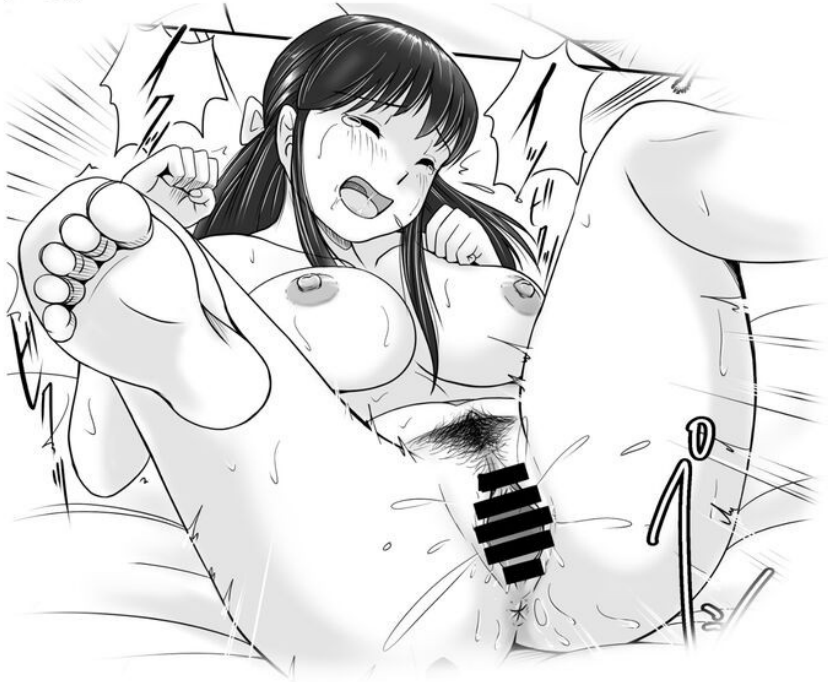


唯花は、ためらいながらも河野の思いを昇華させたいと一度きりと河野を受け入れてしまう。



前回のあらすじ(失われたペンダント)

河野の巧みな性技に翻弄される唯花。そして人並み以上のペニスに突かれ、拓哉では決して経験することができなかった快楽に身を委ね唯花は何度も絶頂に達する。



一方、唯花を河野が送っていった事を知った拓哉は唯花に連絡を取ろうとする。

しかし、その通知によるスマホのバンプが原因で唯花の外したペンダントが偶然、河野のカバンに落ちてしまう。



一晩の情事後、河野のセフレ、茜にアリバイ工作をしてもらった唯花は拓哉の待つ部屋に帰った。不自然な唯花の態度を気にしつつも何も聞けない拓哉。



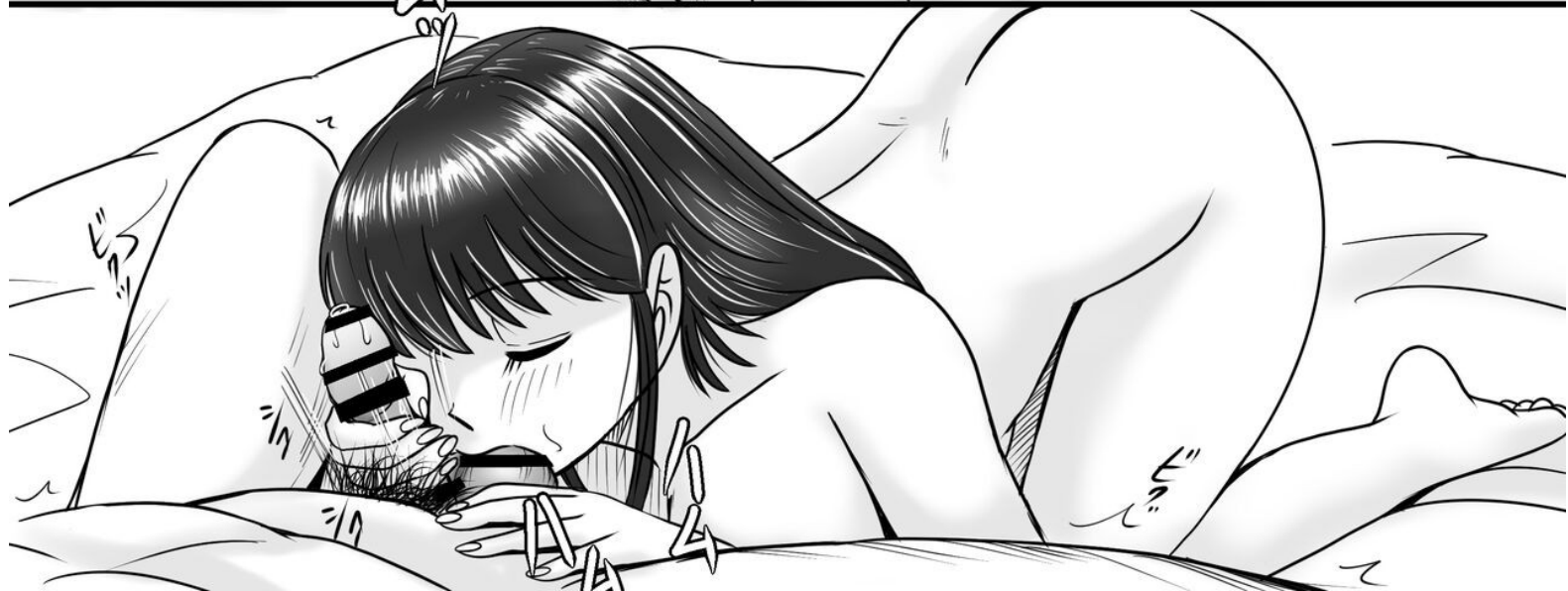
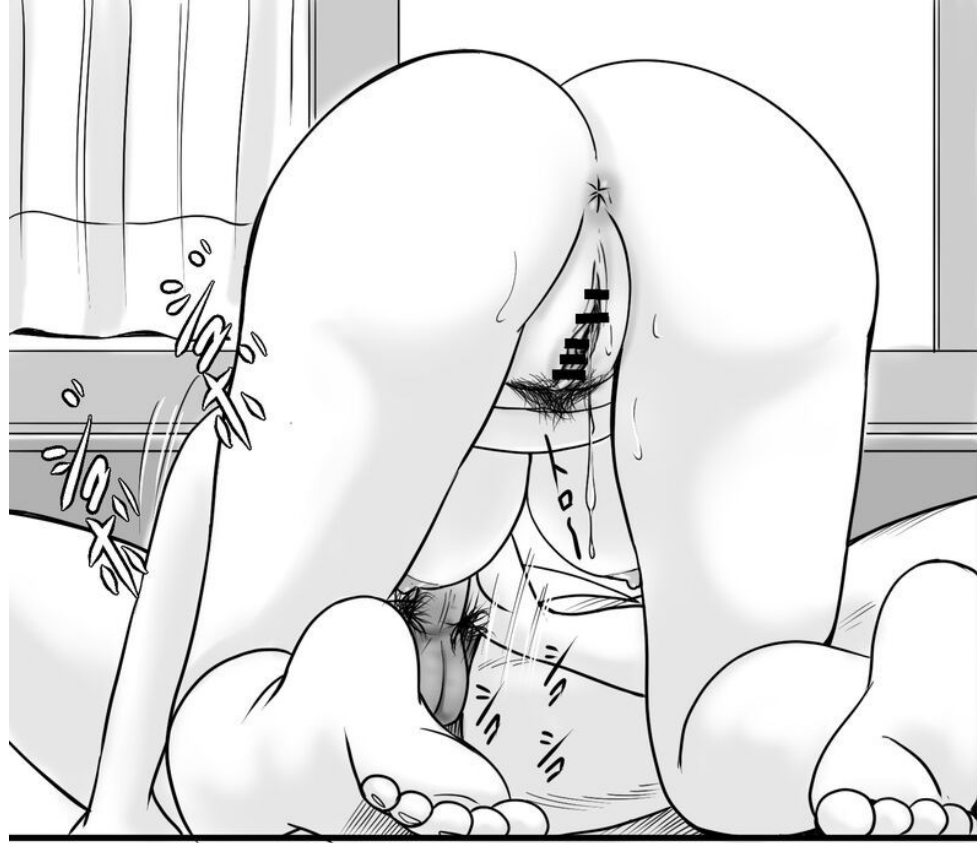
唯花の忘れたペンダントに気づいた河野は早速唯花を堕とすための方策を考え始めた。

面白くなってきた...

桜坂唯花か。









ねえ
たっ君。

今日は
私がしていい。

ごきよー！

最近、随分と
積極的だねえ。

ゴムがなければ
たっ君とも
ずっと気持ちよ
くなれるはず！

ちよつと
唯ちゃん！
ゴム！





やっぱり
ゴムが無いと

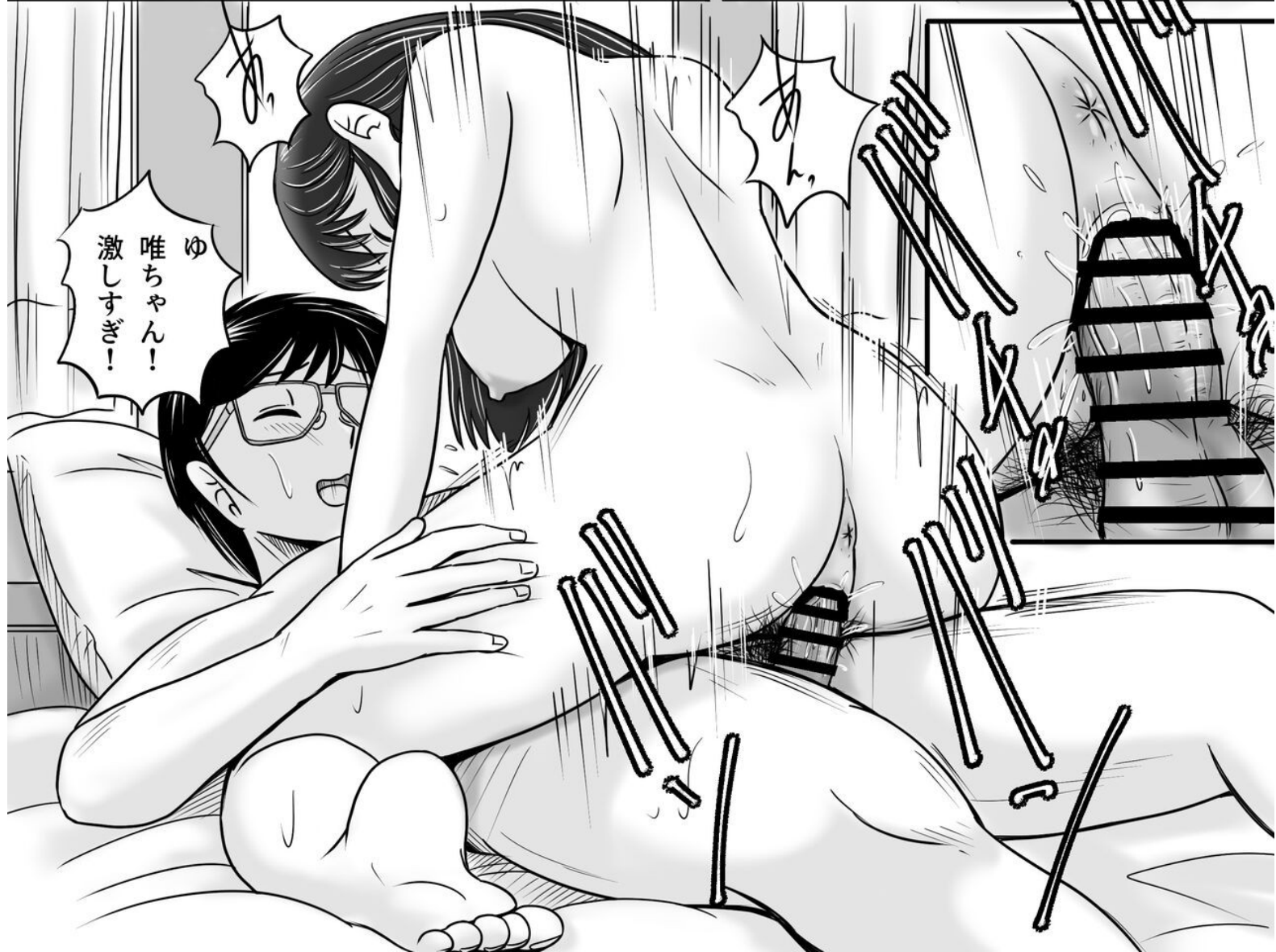
全然
違う！

で、でも
何か違う！
届いて無いのかも？



私が
いっぱい動けば
きつと
よくなるはず。
たっ君も
凄く気持ちよく
なるはず！
だから…

唯ちゃん？



ゆ
唯ちゃん！
激しすぎ！

もっと腰を振って
いいところに
当たるように

あーん

あーん
あーん

唯ちゃん
イキそうだよ！

キ
キスして！

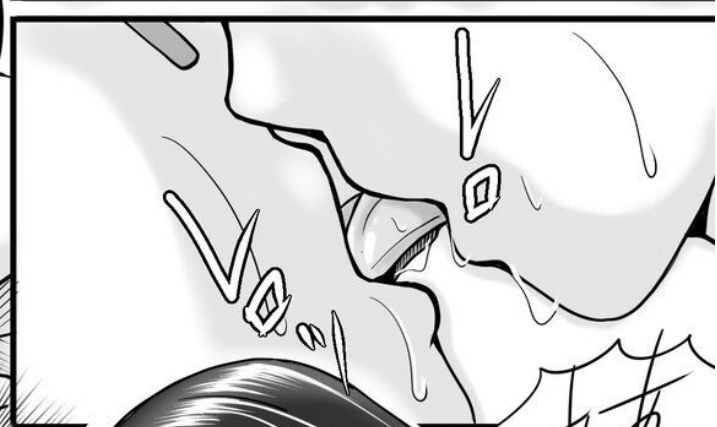
たっ君！
お願い！

もうすこし
もうすこし！

グッ
グッ

もう少し
もう少しで…

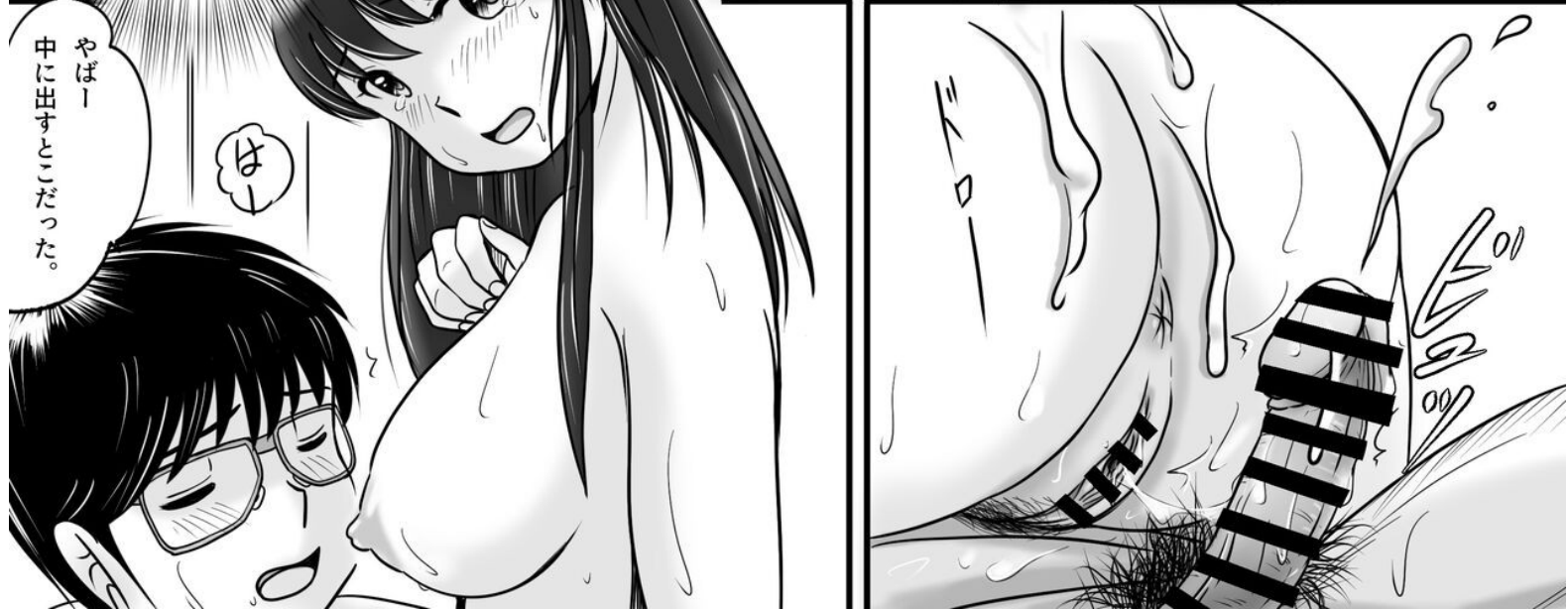
たっ君とも
いけそう！



もう少し
もう少しだから！

唯ちゃん
で、出る！





ゴム無いと
やばいね！
気持ち良すぎて
すぐイっちゃったよ。

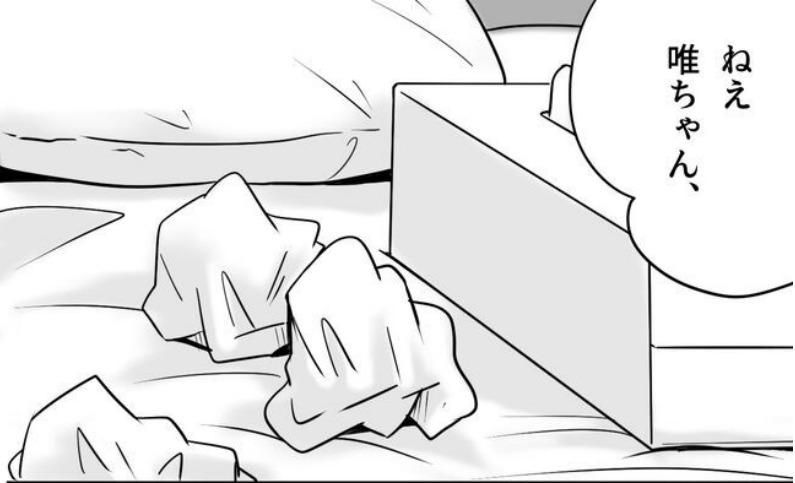
唯ちゃんは、
どうだった？
良かった？

う、うん。
とって良かったよ。

いやー
生やばいわー

結局
イケなかったな…

ねえ
唯ちゃん、



たっ君は
エッチな唯花は
嫌い？

うーん



ところで
唯ちゃん

あれから
ペンダント
付けてないけど

やっぱ
あんまり
気に入らなかった？

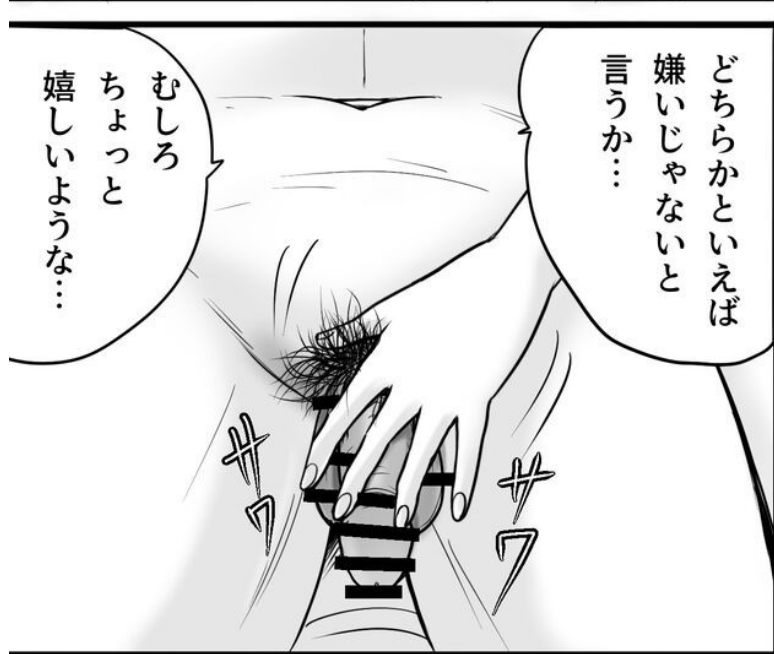
なんか
最近、凄く
積極的じゃない？

エヘヘ



どちらかといえば
嫌いじゃないと
言うか…

むしろ
ちよっと
嬉しいような…



まあ
正直安物だし
唯ちゃんには
もっと良いやつを…



違うの！
たっ君！

本当に凄く
気に入ってて
大事にしよう
と思ってたの！

ゆ
唯ちゃん…

でも
あの飲み会で
私凄く酔っちゃって

気づいたら
無くなって！

たっ君に言おうと
思ったんだけど
がっかりさせそうで…

お店の人や
茜先輩にも
探してもらって…

唯ちゃん
落ち着いて

たっ君
ごめんなさい

別にそれなら
いいんだよ。

ペンダントは
お守りって言ったでしょ。

ペンダントがなくなっても
こうやって唯ちゃんが
無事に帰って
来てくれたんだから
いいんだよ。

たっ君！

大好き！

もう一回
しよ！

ねえ
たっ君。

唯ちゃん…

あ、

唯花ちゃん…

唯花ちゃん…

たっ
たっ
君？

まだ
するの？

唯花ちゃん…
凄く気持ち良いよ

こ！
河野さん！

唯ちゃん

唯ちゃん



いってらっしゃい



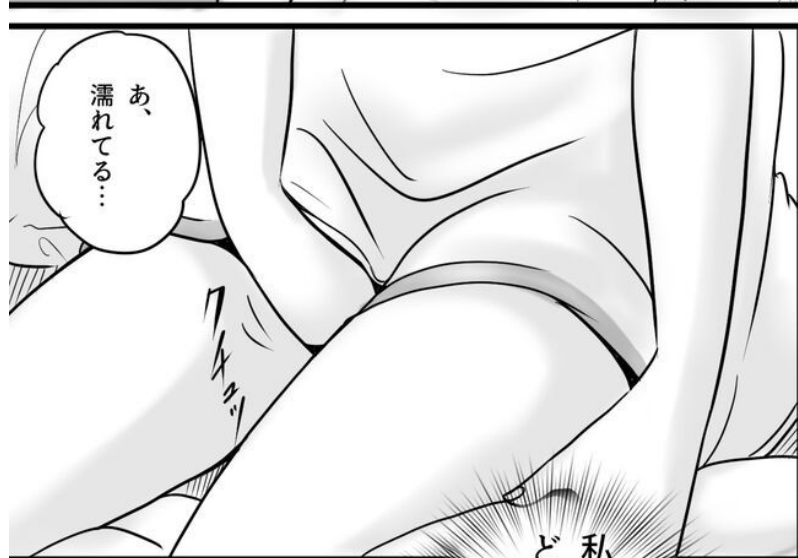
行っちゃった...

せっかくの
おやすみなのに
つまらないな。



何であんな夢
見ちゃったんだろう？

あれから
二回もしたのに...
一回もイケなかったけど



あ、
濡れてる...

私の体
どうなっちゃったんだろう



そんな事より

ペンダント！

多分あの時
ホテルで外して…

慌てて
出て来ちゃったから

場所なんて
わかんないし…

えっ

ヒッ

フッ



え!

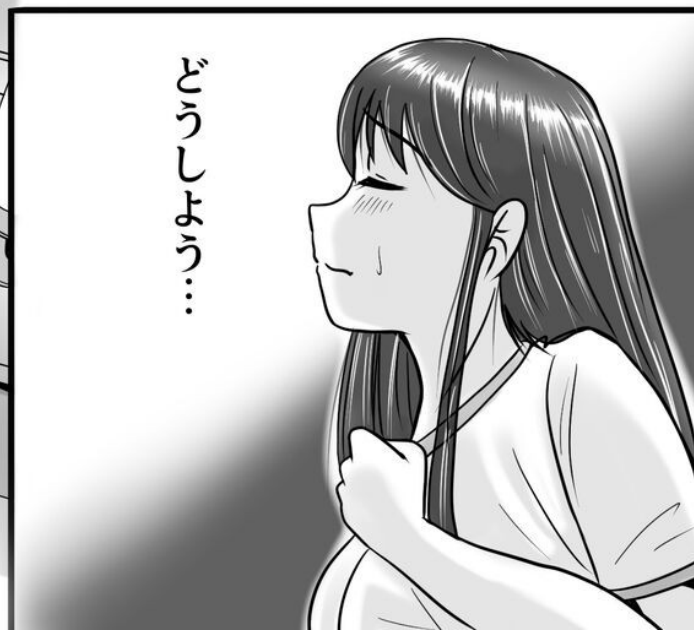
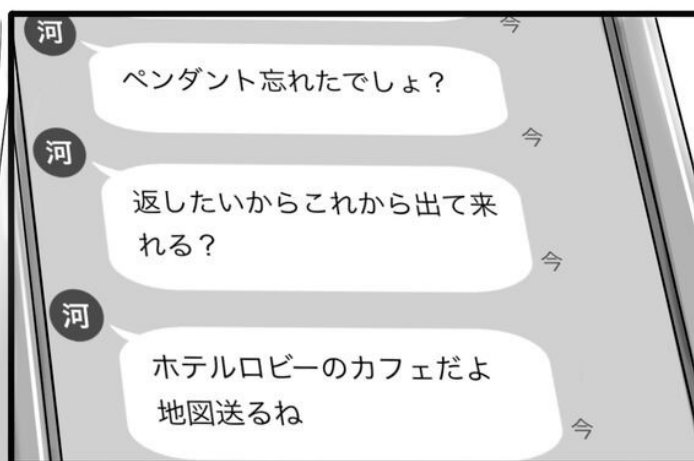
河野さん!



河野さんが
持ってるんだ!



どうすれば良い?



どうしよう...

大きな
ホテル！







共犯だよ。

あの夜
茜の家に
泊まったって
言ったんだろう？

そ、それは
河野さんが
そうしるって！
茜先輩には
話をつけるって！

あ、
あと！

あの写真も
消してください！

えー！

そいつは
残念だなあ。

当分会えなく
なるから

オカズに
使おうって
思ってたのに。

オカズって

河野さんでも
そんな事
するんですか？

え？

当分

会えなくなるって？

どういう
事ですか？

いやー

急に
海外のオフィスに
転勤が決まってね

うちの会社で今
多国籍のプロジェクトが
進行していて
人手が足りないらしく

向こうのオフィス
で直接仕切る日本人が
必要なんだとき。
二、三年は向こうだ。

まあ
これで…

君らを
邪魔する輩は
居なくなるわけだ。

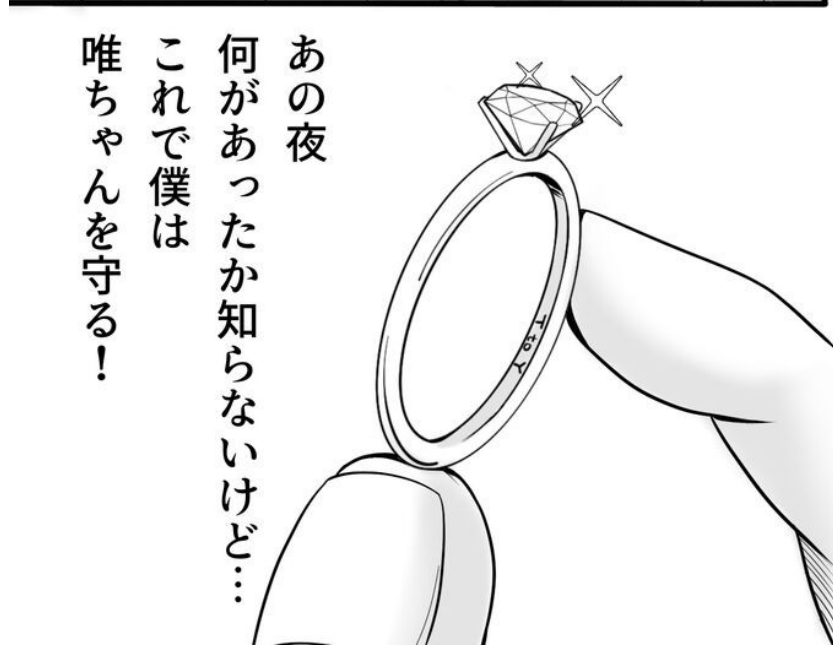
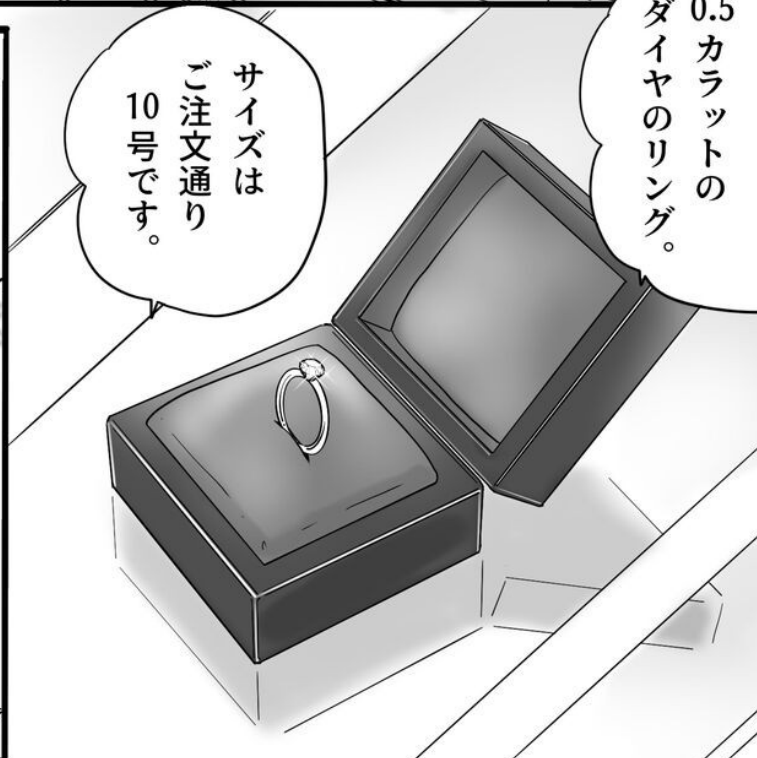
寂しい？

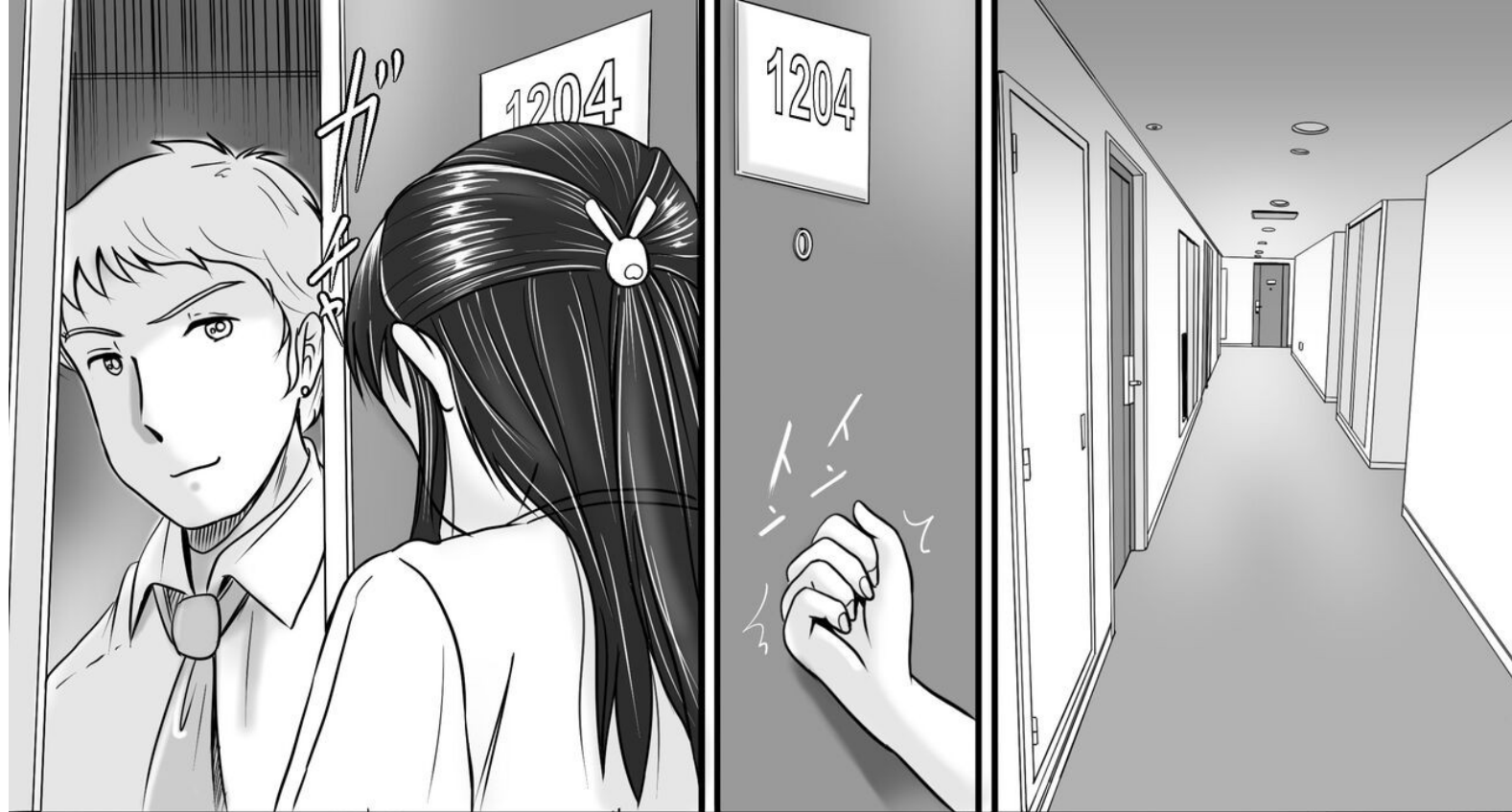
べ、
別にそういうわけじゃ
無いです…

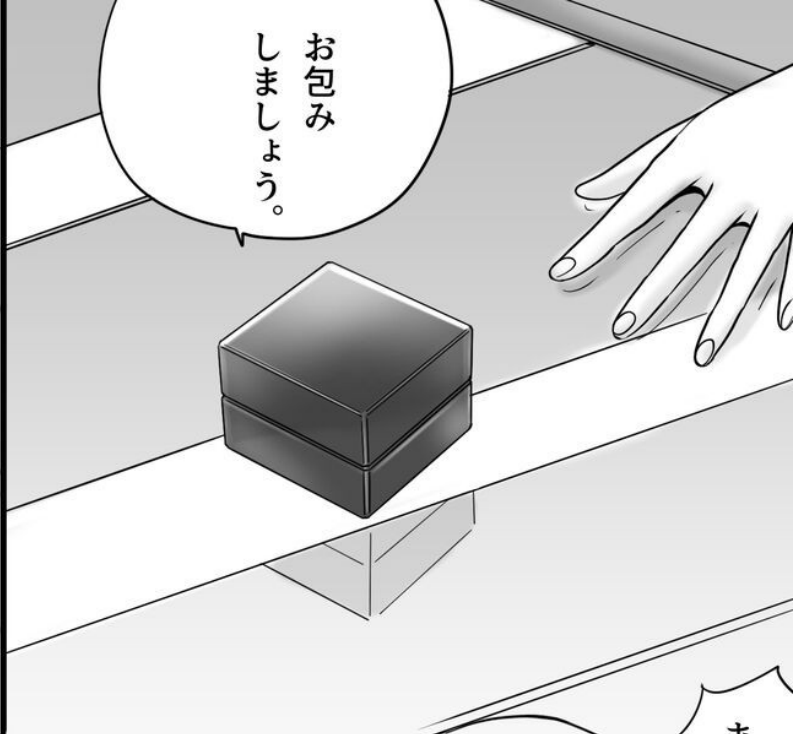
あ、あの

写真は
使って下さって
結構です…

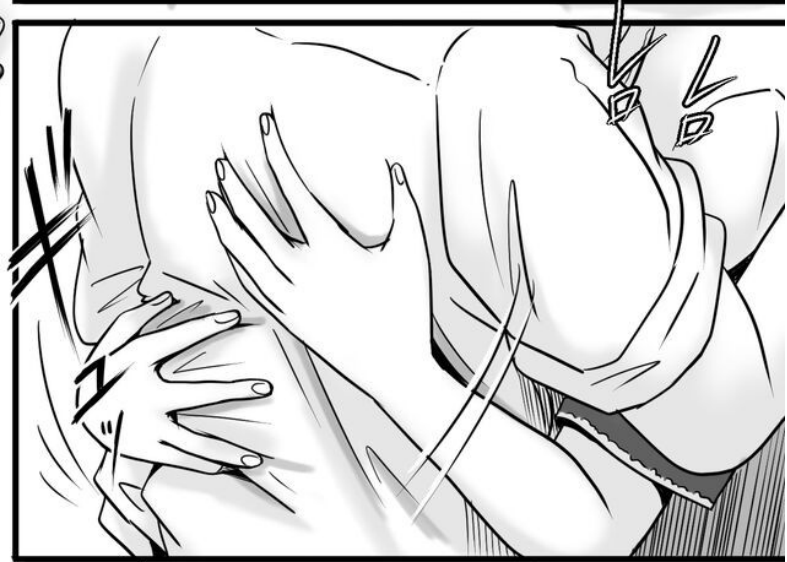












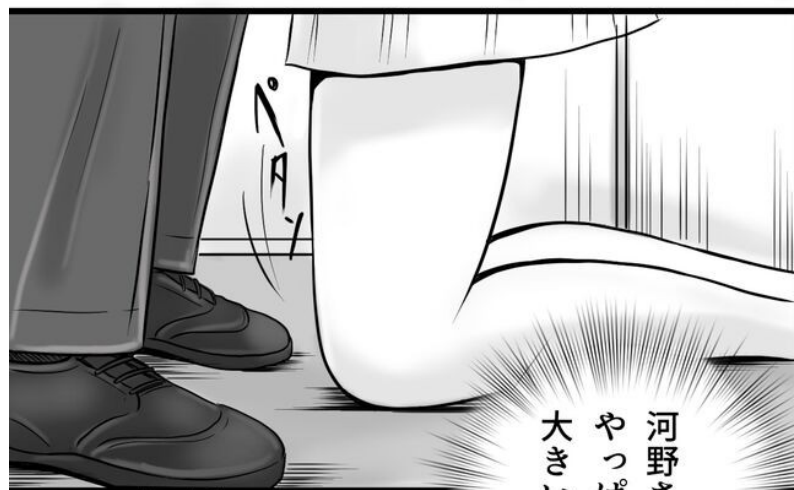
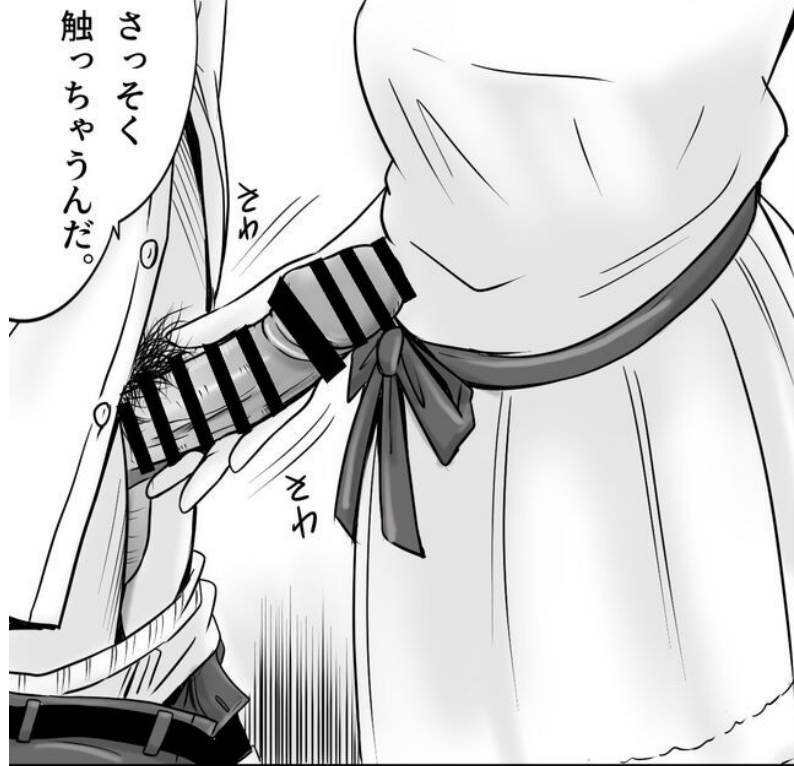
わ、
私は別に…



唯花ちゃんも
こういう事
したかったんだね。

唯花ちゃん、
来てくれると
思ったよ。







たっ君のより
ずっと…



仕込んだあいつが
凄いのか
それとも…

もう、夢中じゃないか。
相変わらず
見かけによらずってところか。

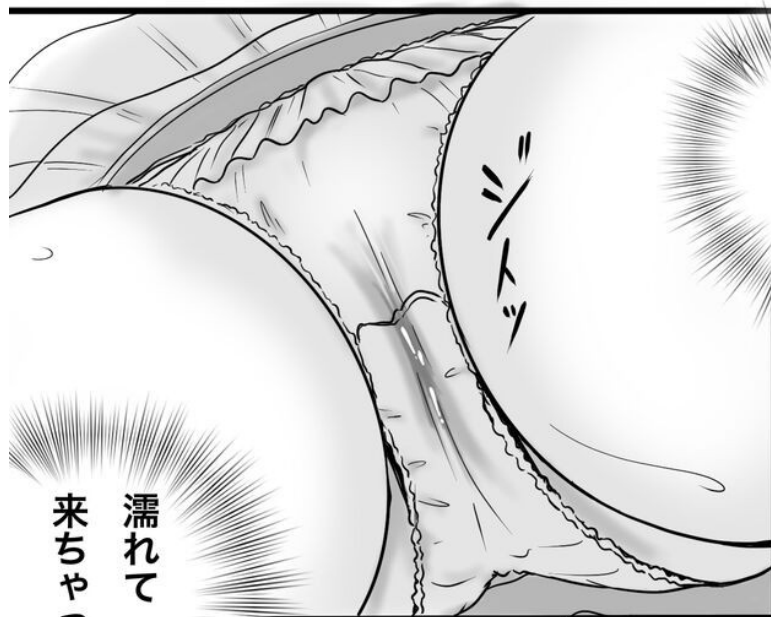
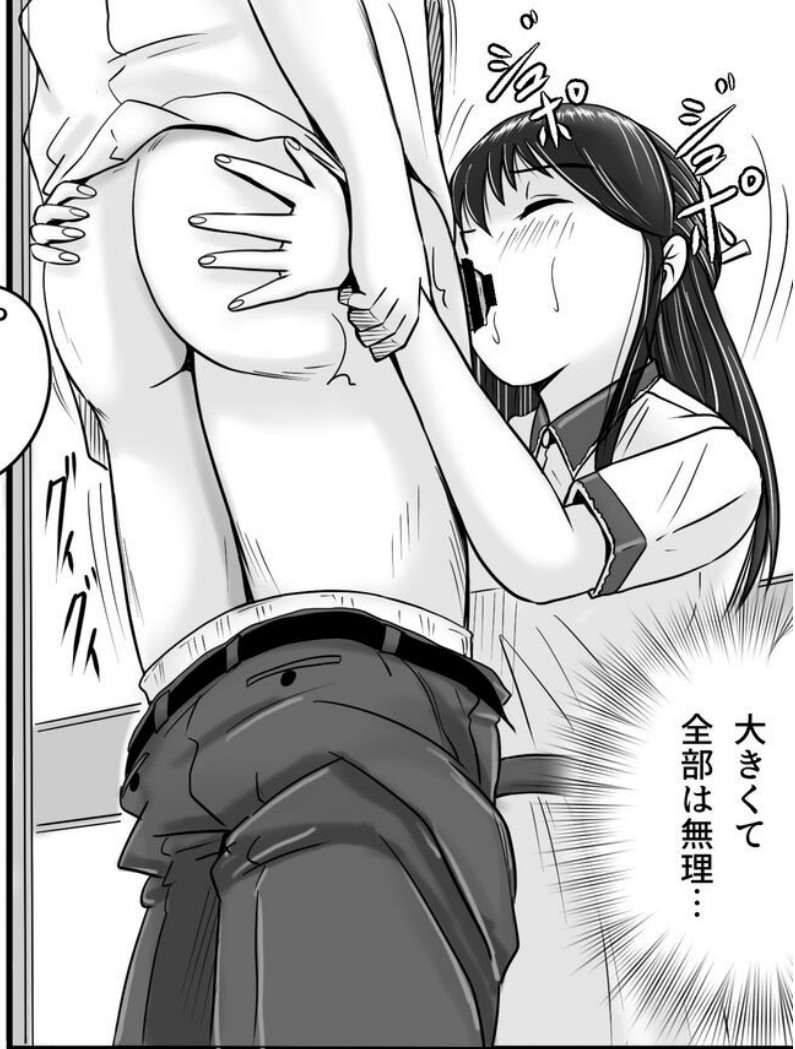


あいつのために
学んだか…

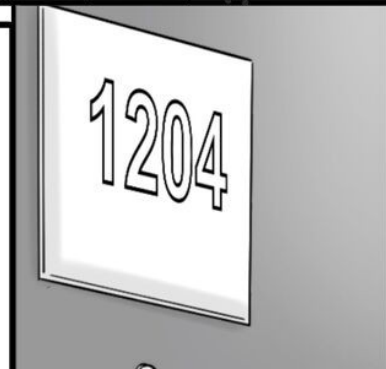
いずれにしても
なぜか
少しイラつく…

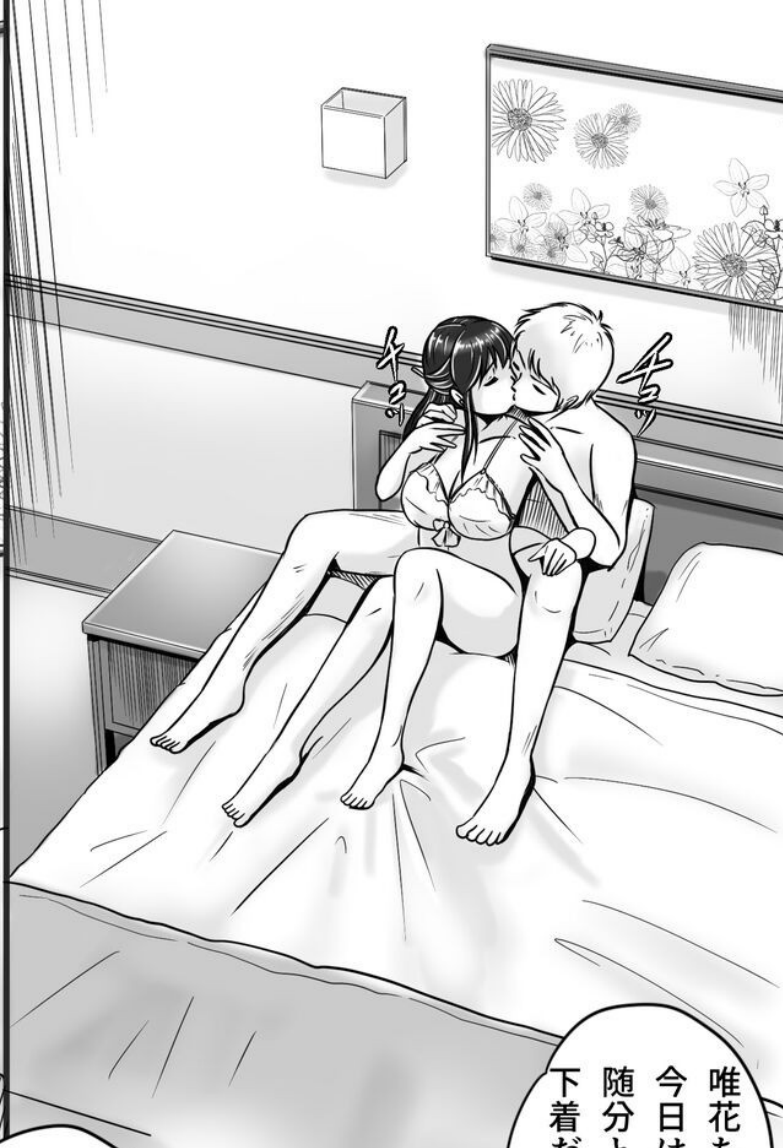










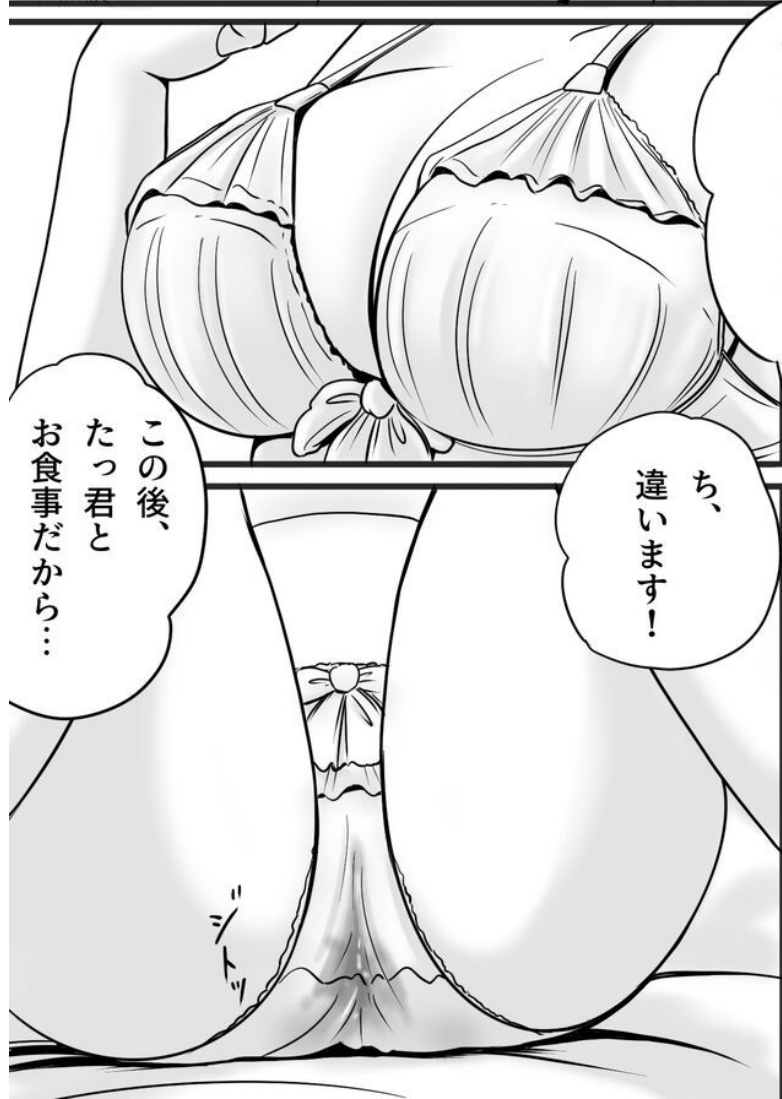


唯花ちゃん
今日は、
随分と気合の入った
下着だね。

ひょっとして
俺と会うから
付けてくれたのかな

ち、
違います！

この後、
たっ君と
お食事だから…



彼氏よりも
先に見ちゃって
申し訳ないね。

汚しちゃあ
悪いから
とっちゃうね。

ふうん

そんなにじっくり
見ないでください…

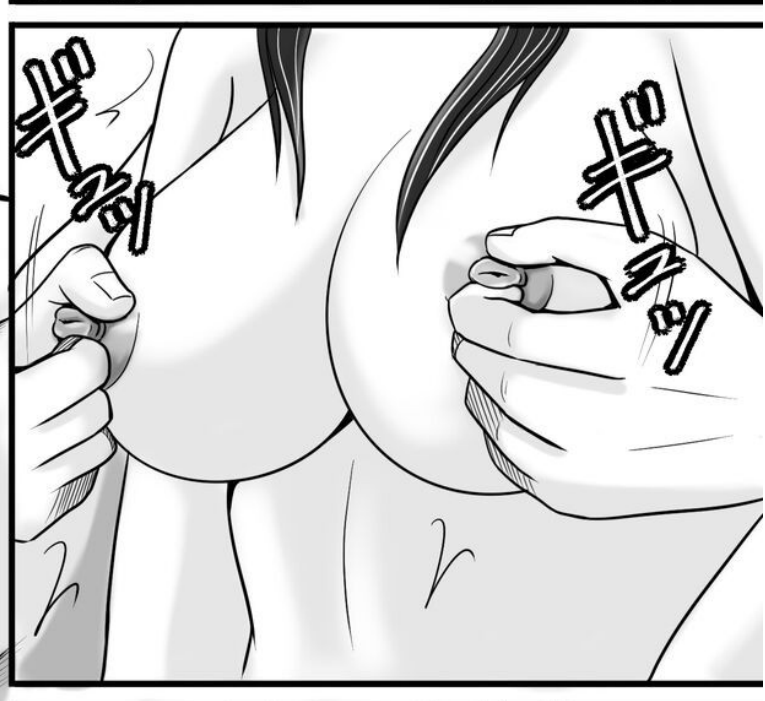
いや
オッパイが…

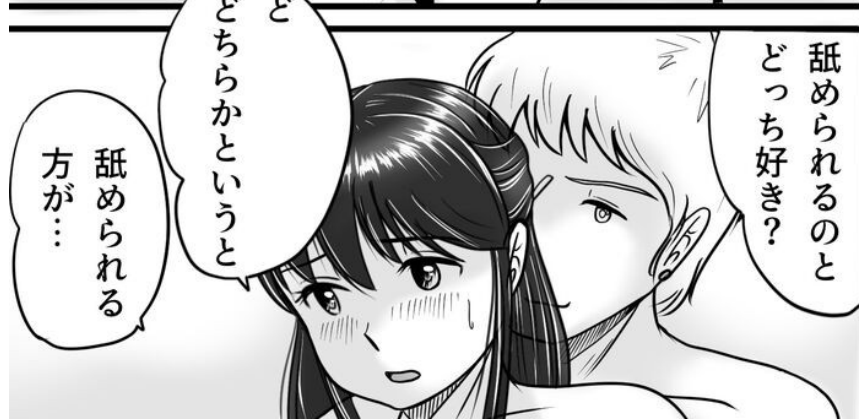
早く触って
って言ってるみたいだね

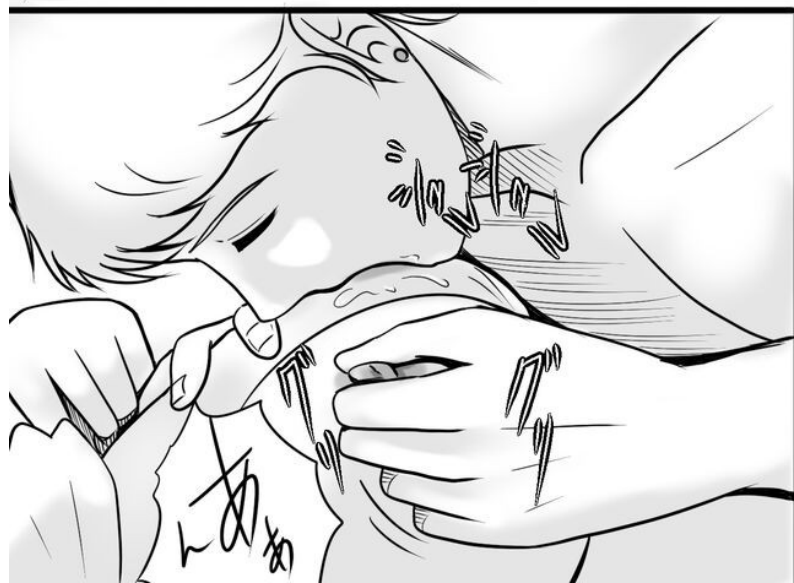
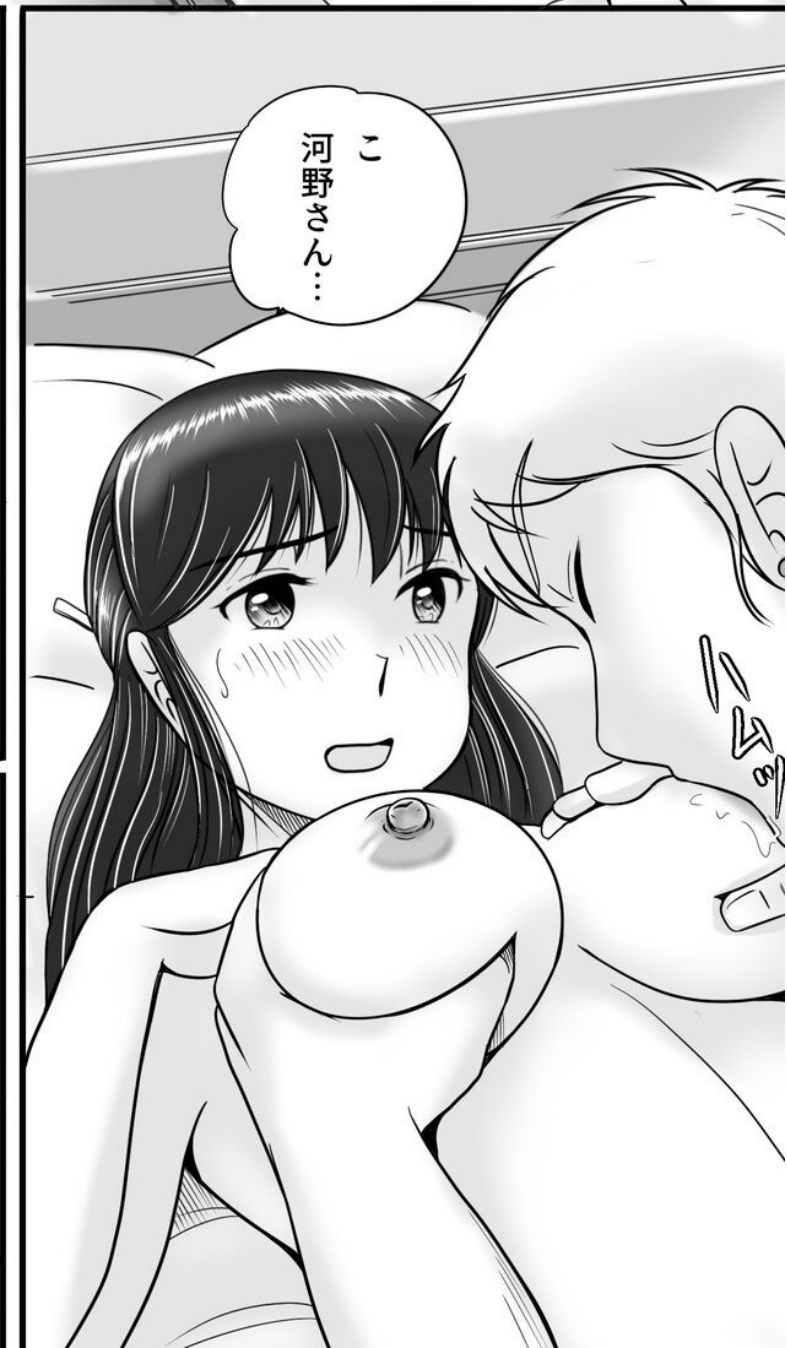
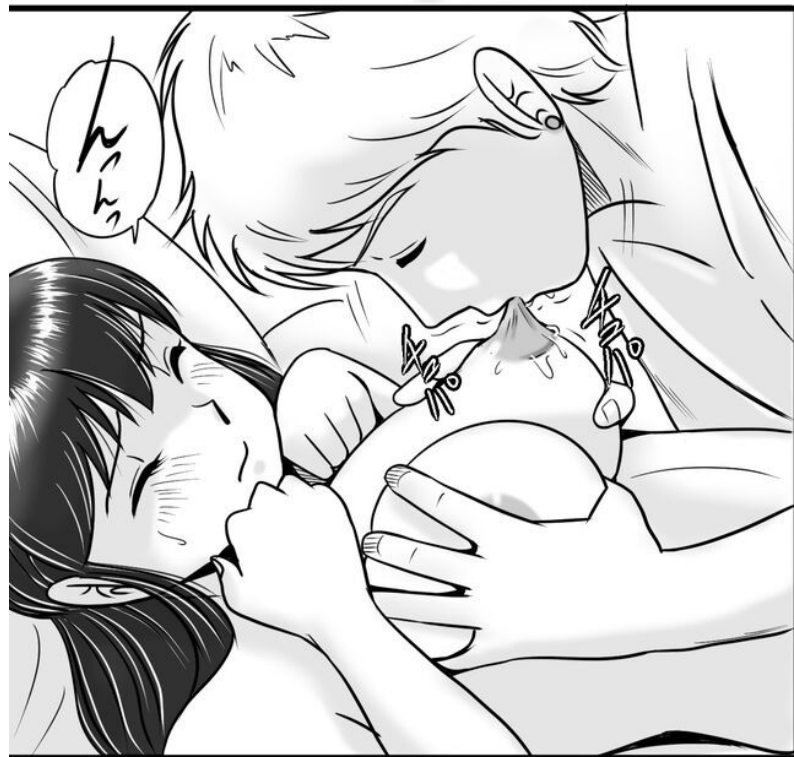
さわ

さわ





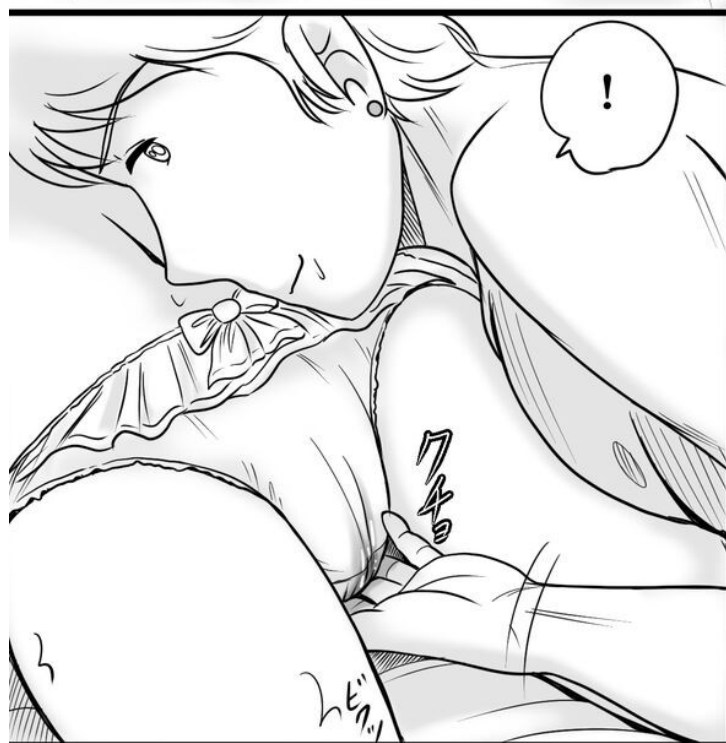


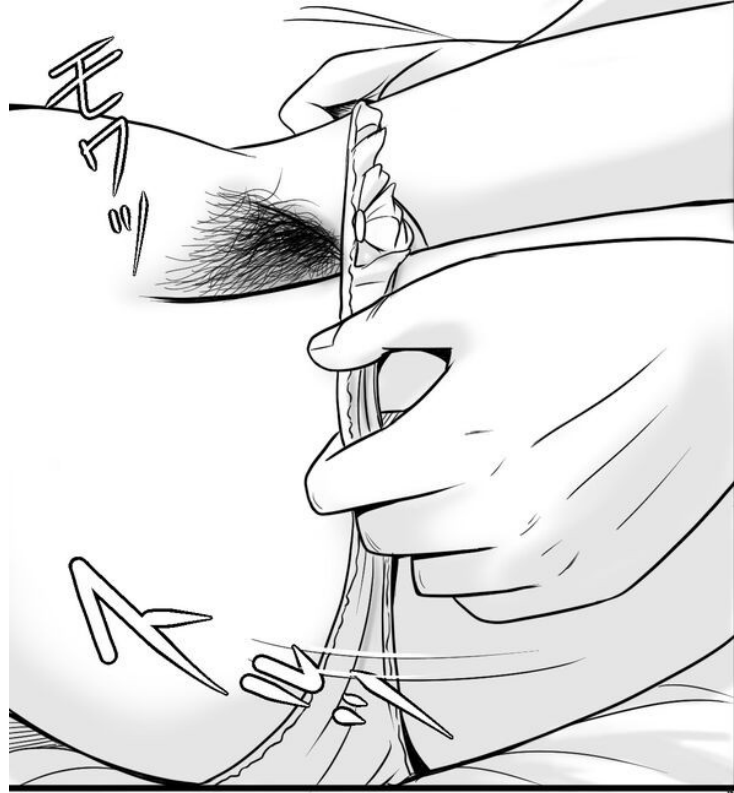




下の方も
触ってあげるね。

乳首って
こんなに
硬くデカくなるんだ





唯花ちゃんは
さあ、

こっちの毛
剃らないの？

最近では
皆んな処理するって
言うじゃない？



やっぱり
無い方が
良いですか？

おいおい
それ
俺に聞く？

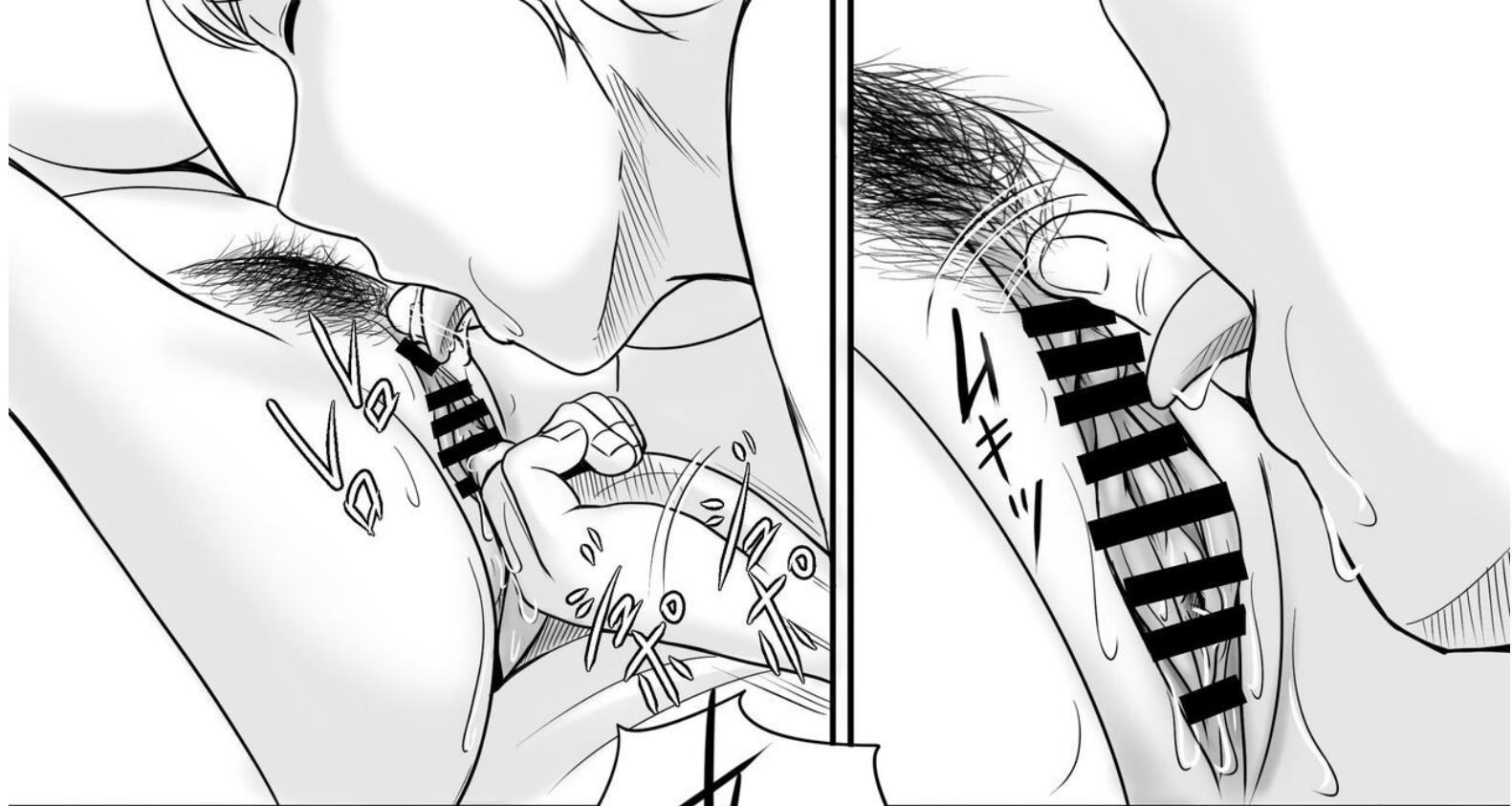
そ
そうでした…

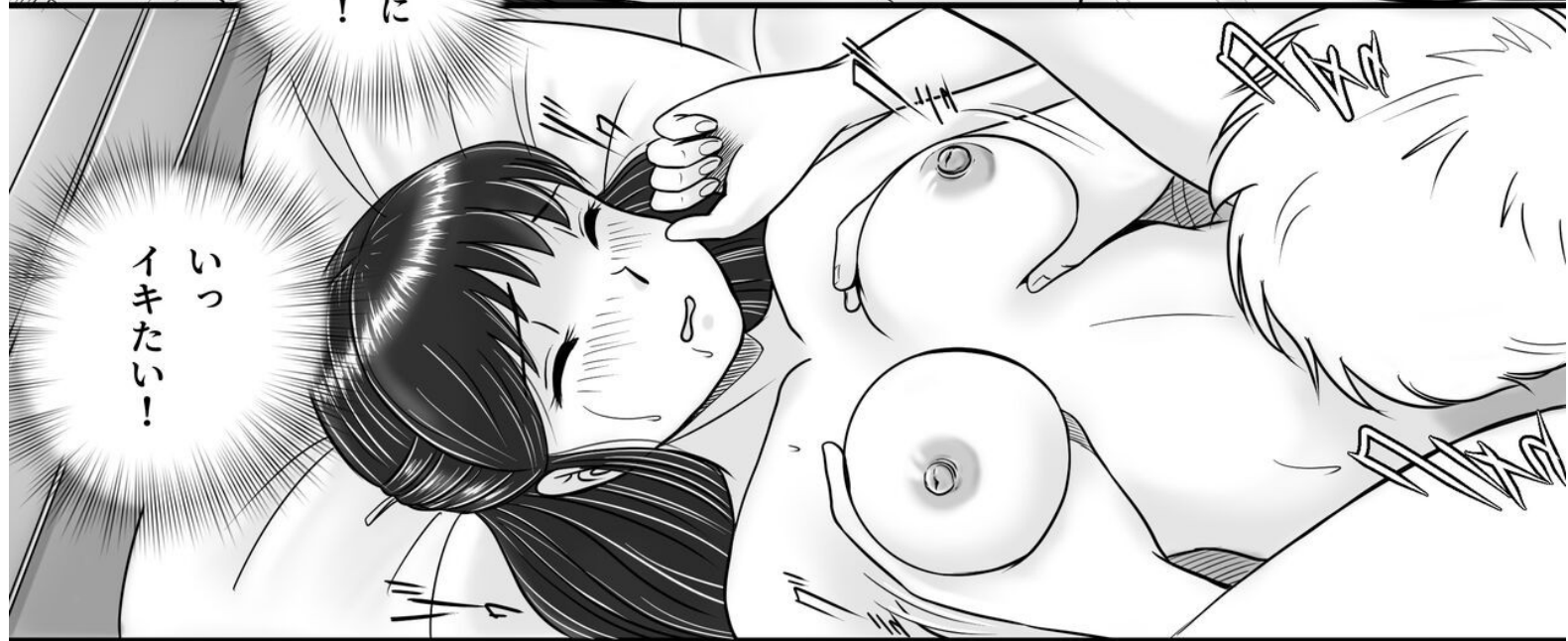












唯花ちゃん、

今、イキそうだった
でしょ？
イキたくて
たまらないんじゃない？

えっ！

イキたい！

ま
まあ…

イキたい
よね？

イキたい！
イキたい！

じゃあさあ

お願いしなきゃ
じゃない？

イカせて
ください！

お
お願いですね…





唯花ちゃん
これ好きでしょ？

これで
イカせてあげる。

こ、河野さん！
そ、それ！

あぁ

はぁ

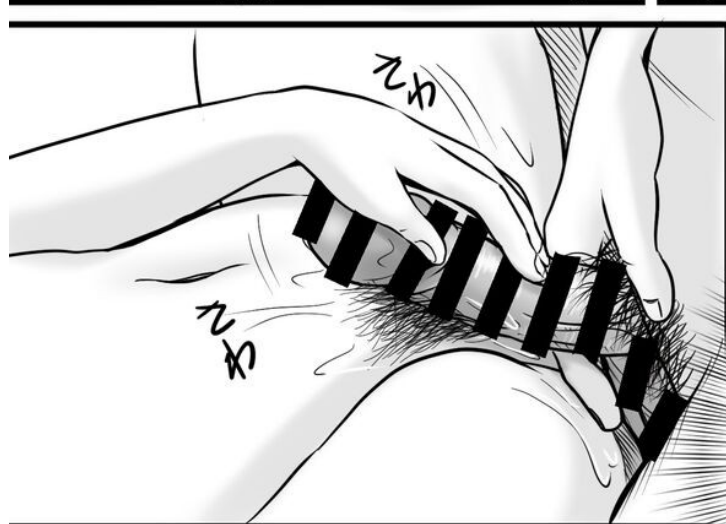
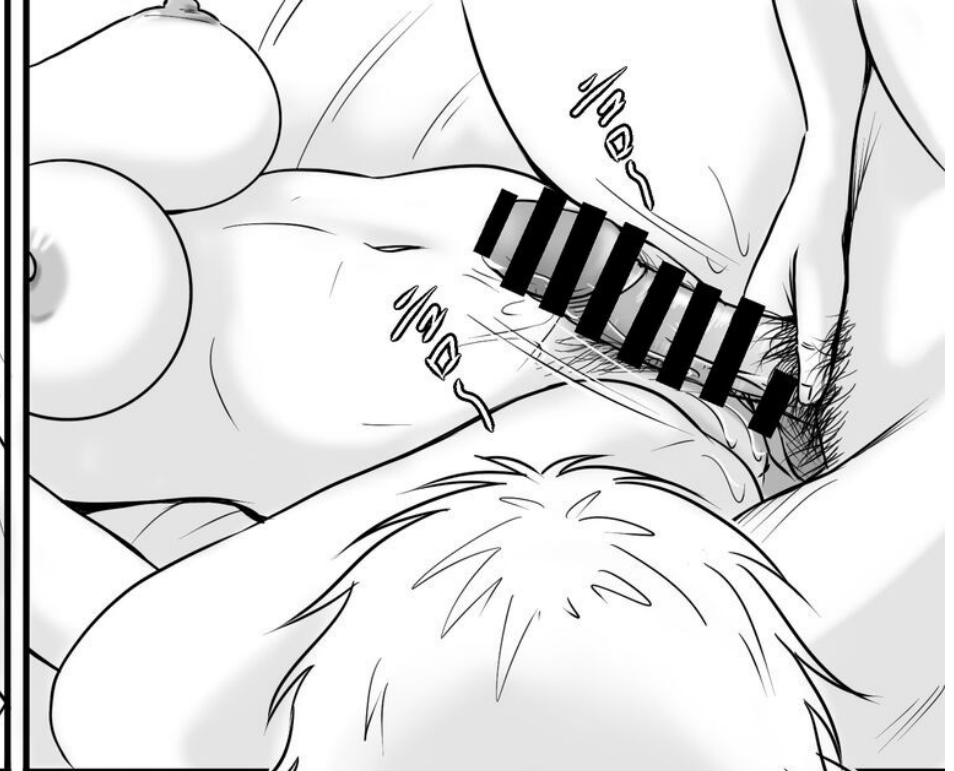
かは







唯花ちゃん
ほら、

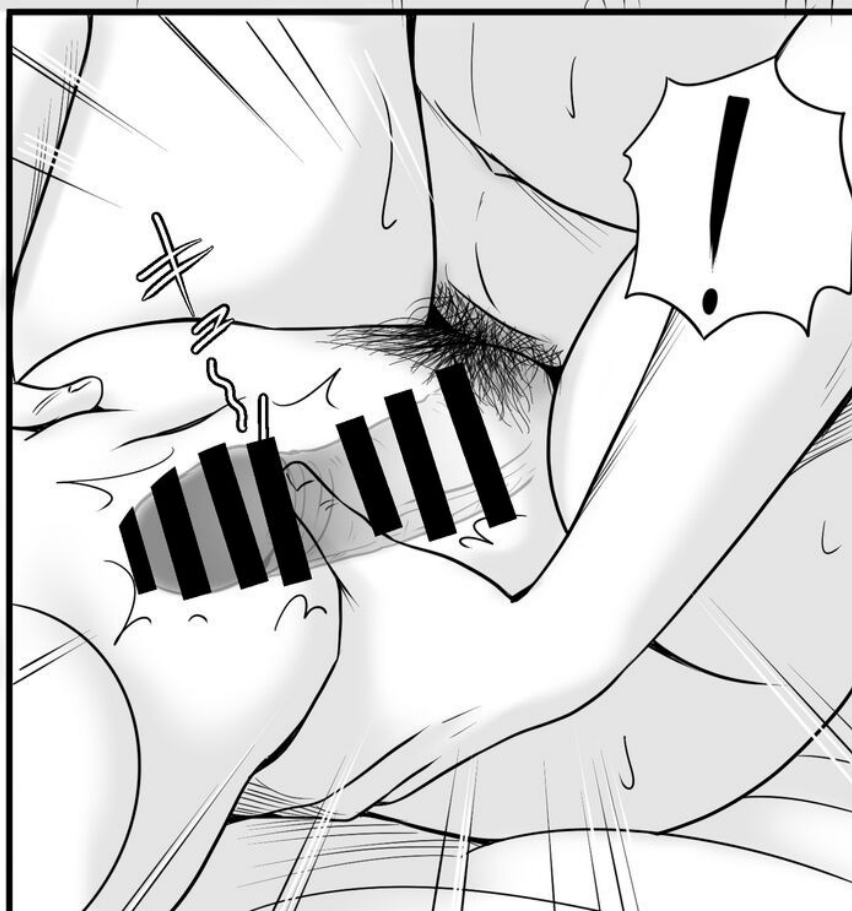
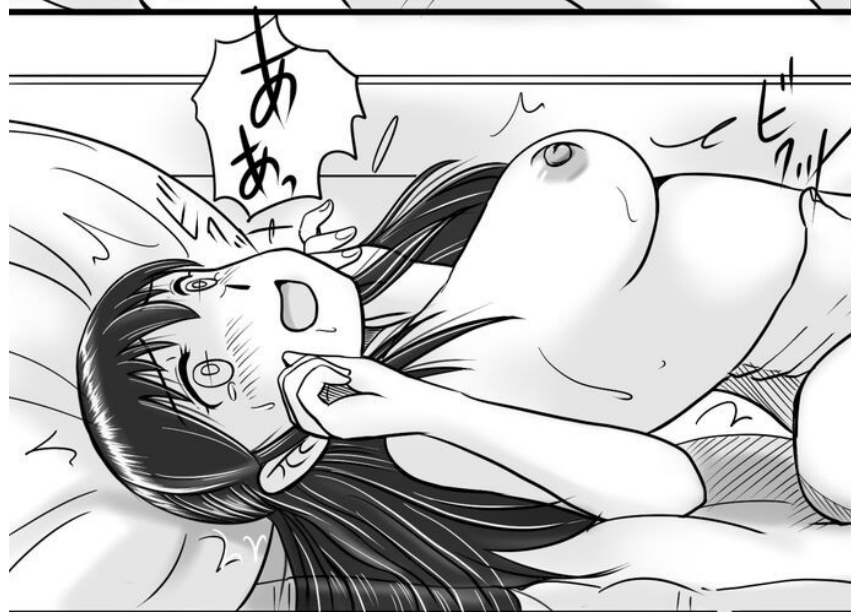
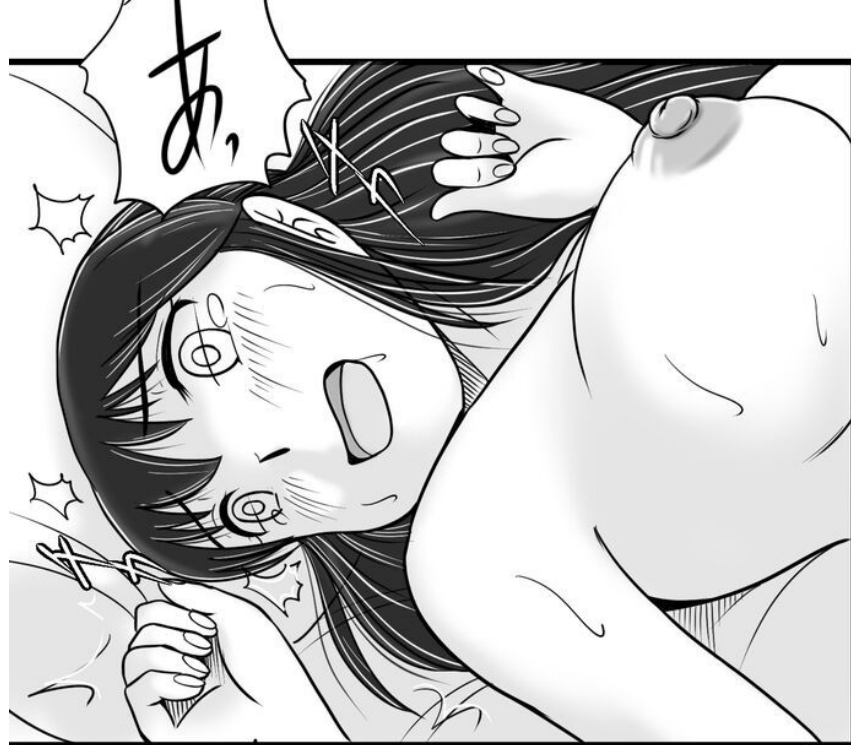


凄い…
大きくて
硬い。



やっぱり
たっ君とは…







だーめ

俺も
我慢できない！

あゝ
あゝ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

奥に
当たって

あゝ

あゝ

気持ち
いい！

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

コイツの
まんこ…



フェラで抜いて
なかったら
俺でも
さっきのでヤバかった。

前も
なかなかだった
今日は
別モンだ…



こ
河野さん…

は
激しいです。

気を抜いたら
そのまま
イキそうだ…

唯花ちゃん！

ナカは
ダメだよなあ！

えっ！

それだけは
ダメ！

絶対！
ダメ！

たっ君とも
まだなの！





唯花ちゃん!

早く
答えないと

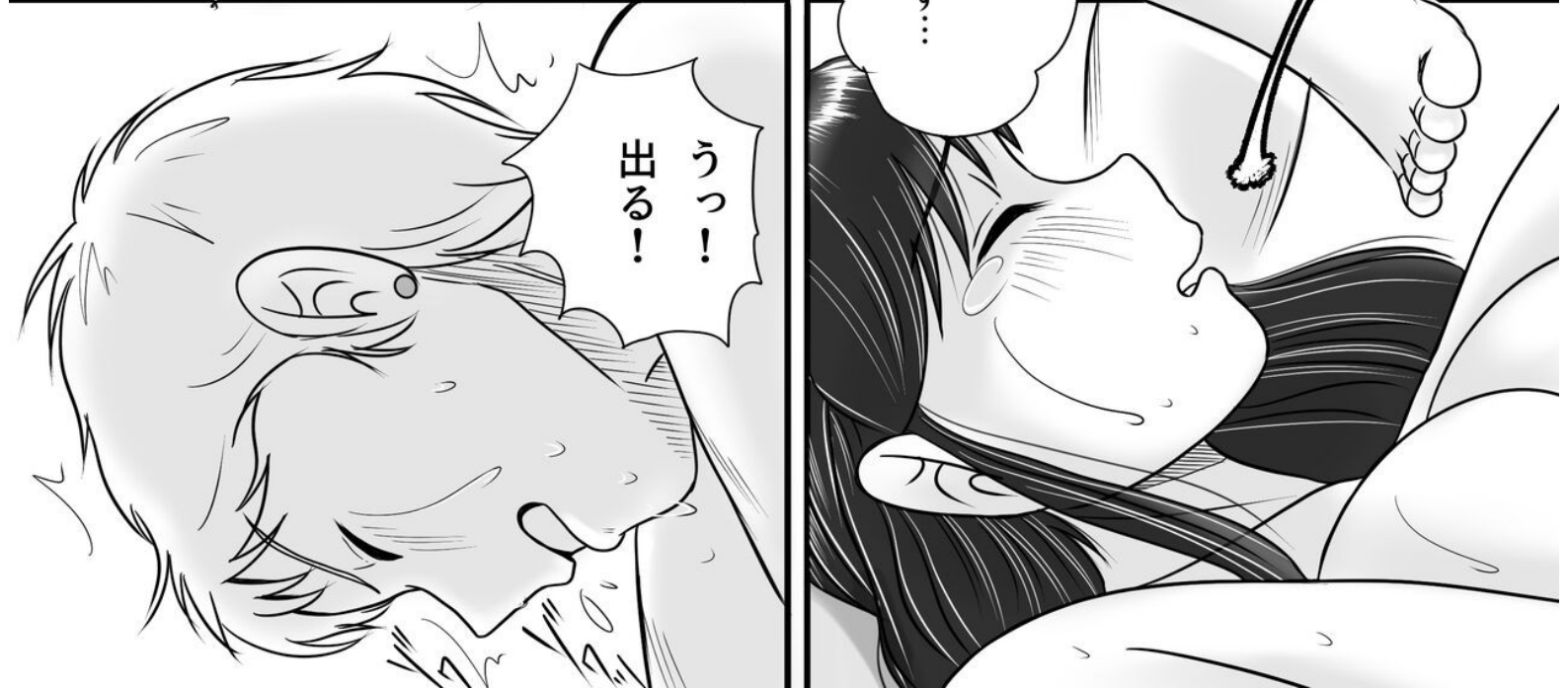
何を
ためらってるの!

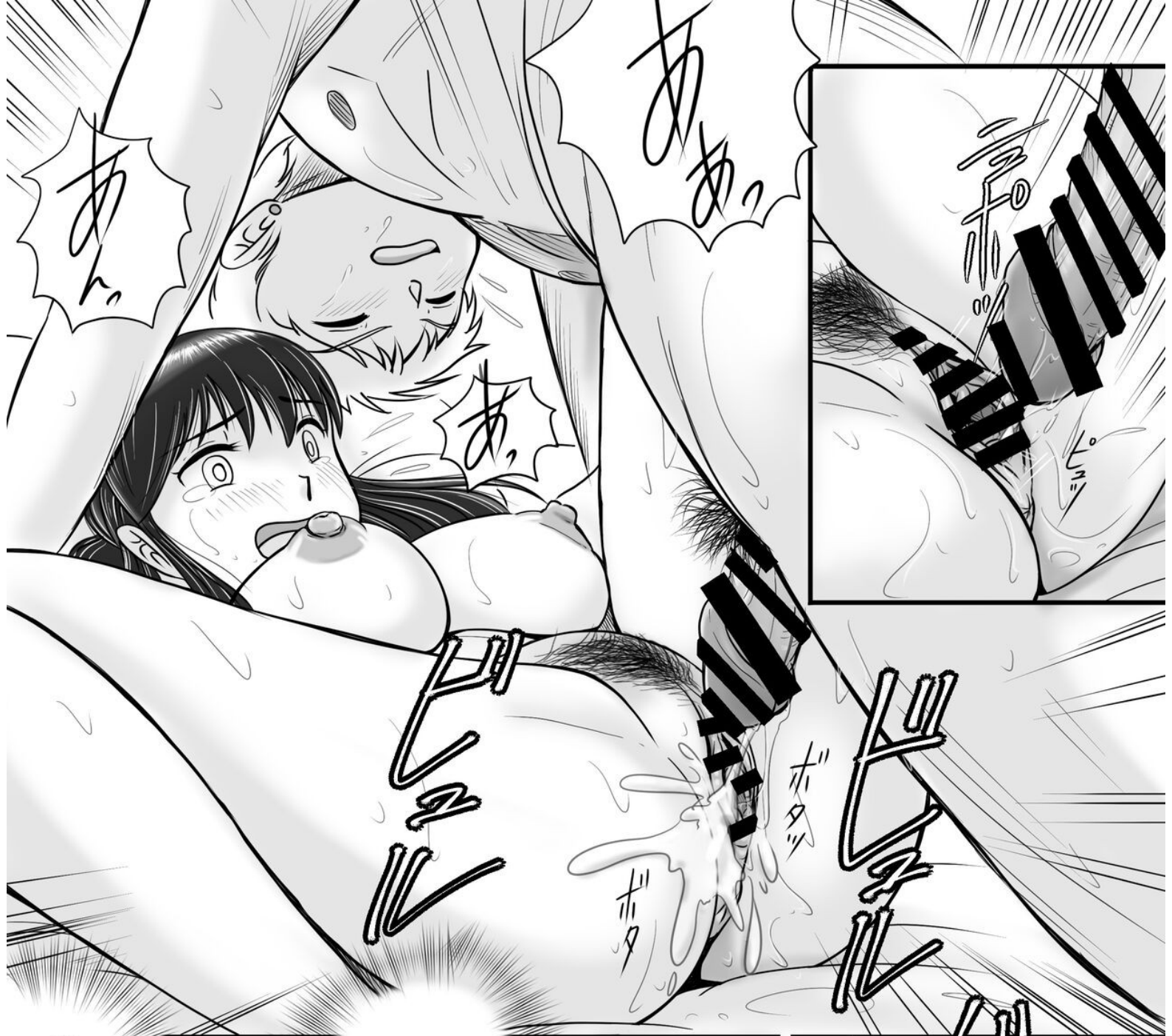
ダメって
言わなきゃ!

出ちゃうぞ!

だ
だめです...

うっ!
出る!





河野さんの

精子…

いっぱい…

はあ

はあ

あそこが
熱い…



唯花ちゃん

早く
答えてくれないと
ナカに
出しちゃうよ。

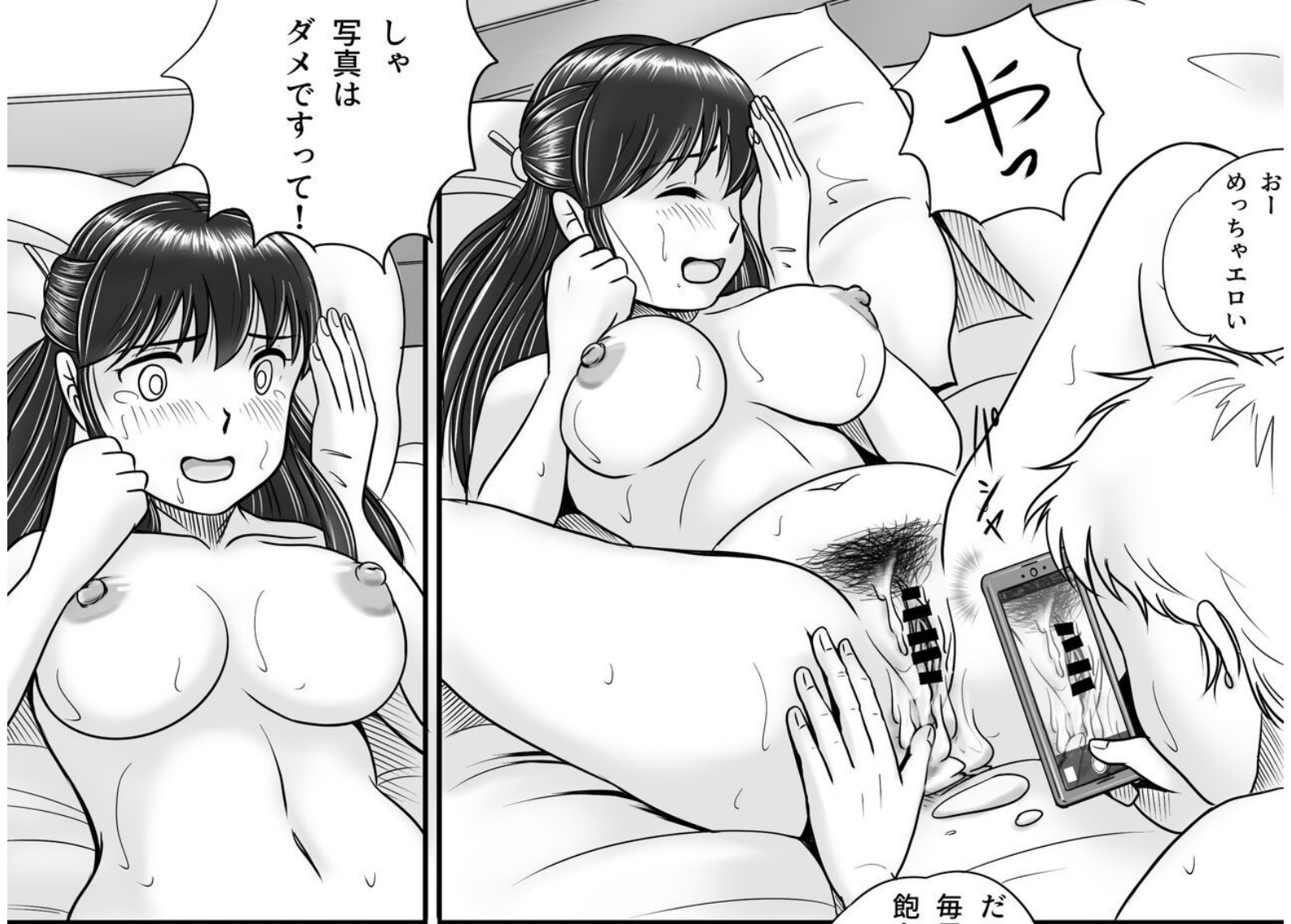
それでも
いいって
思っちゃった...

絶対
ダメなのに...
どうして...

まんこ
べちゃべちゃ

まるで
ナカ出した
見たいになっちゃったね。

!





どうせなら
動画にしちゃおう

しかし
見かけによらないとは
まさにコイツの事だな

真面目だし
見た目は地味だが
とんでもない逸材だ！

コイツの体、
まんこ、
そして...

心も...

気が変わったぜ！

唯花ちゃん
さあ

全部
モノに
してやる...

この際、全部
撮っちゃうね



拓也君！

この前の
飲み会！

何で
来なかったの？

いやあ
急な仕事で…

残念でした。

あの日は、

唯ちゃんが
お世話になりました。

唯ちゃん？

あ、ああ…
桜坂さんね！

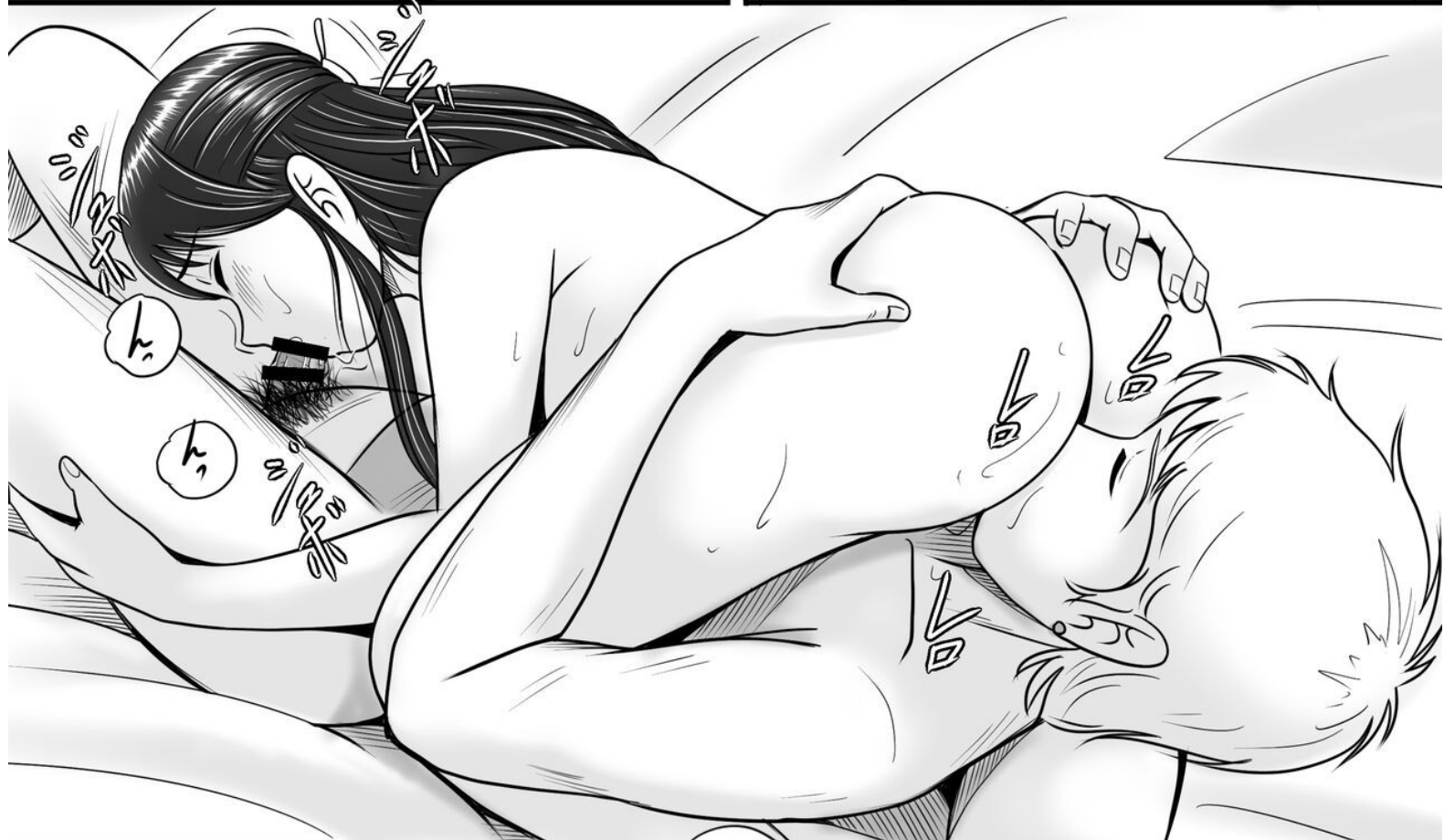
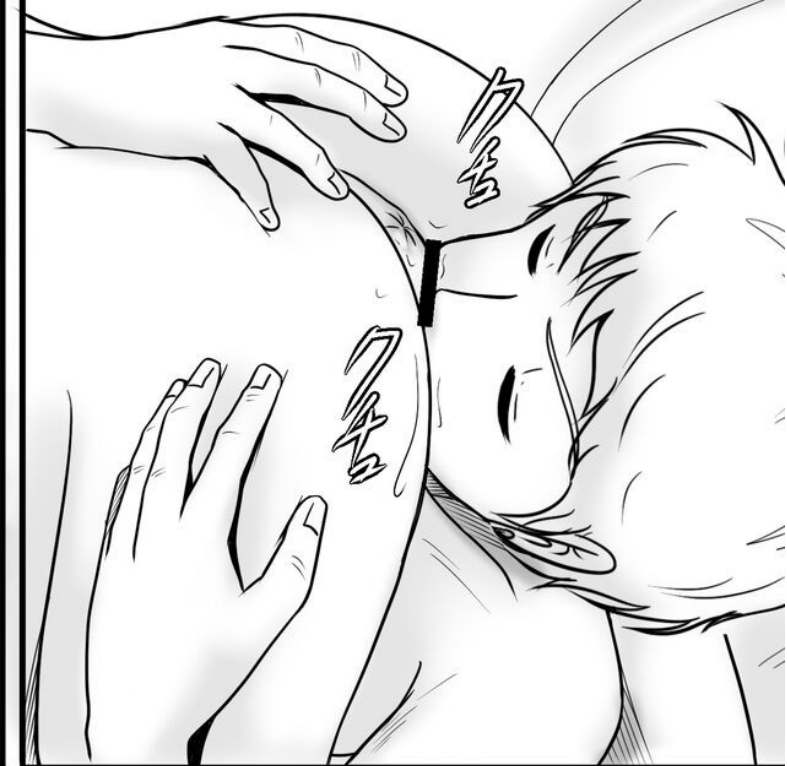
もう
酔っ払って
大変だったわ！

弱いのに
飲み過ぎよね。

ところで…

ペンダントは
見つかりましたか？





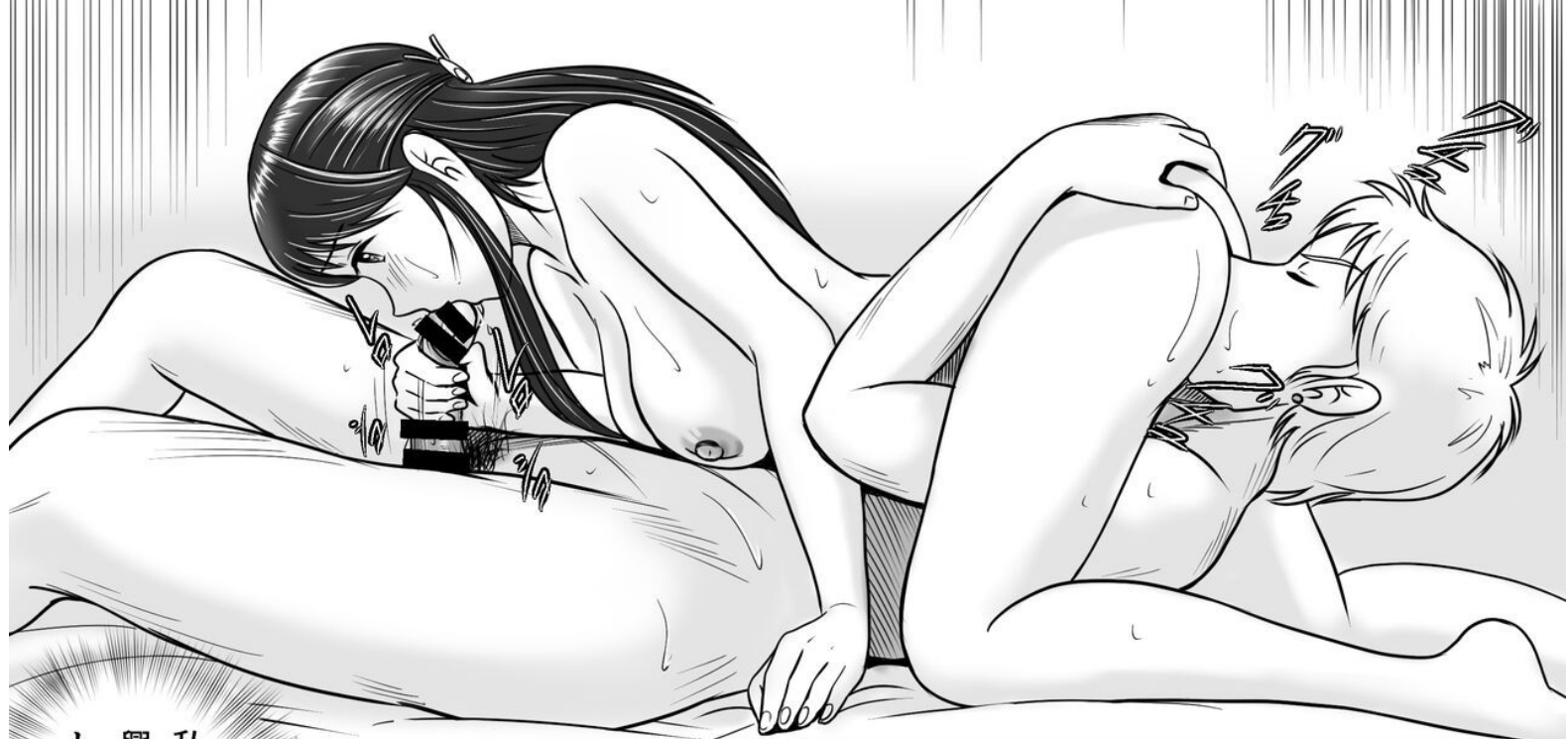
どんだん
溢れて来る…

こ、河野さん…
恥ずかしいので…

あんまり
広げないで
ください…

全く
エロいまんこだ。





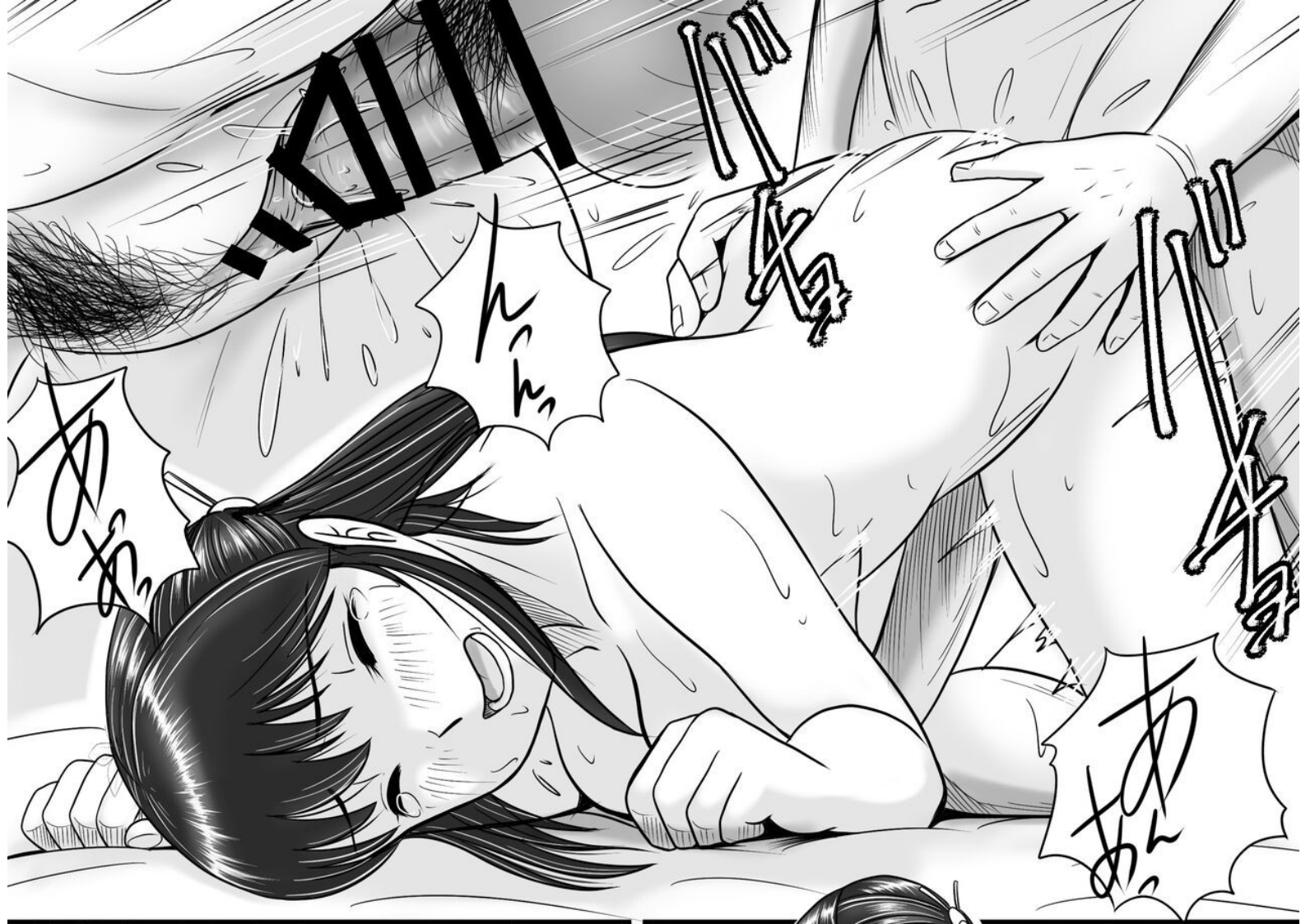
私のを舐めて
興奮
してるんだ…

河野さんの
さっきより
おっきい…



なんか…
嬉しい…







こ、
河野さん...

い、
いきそうです...

じゃあ、
もっと強く
突いてあげる!





この
体勢…

あ

あ
あ

あ

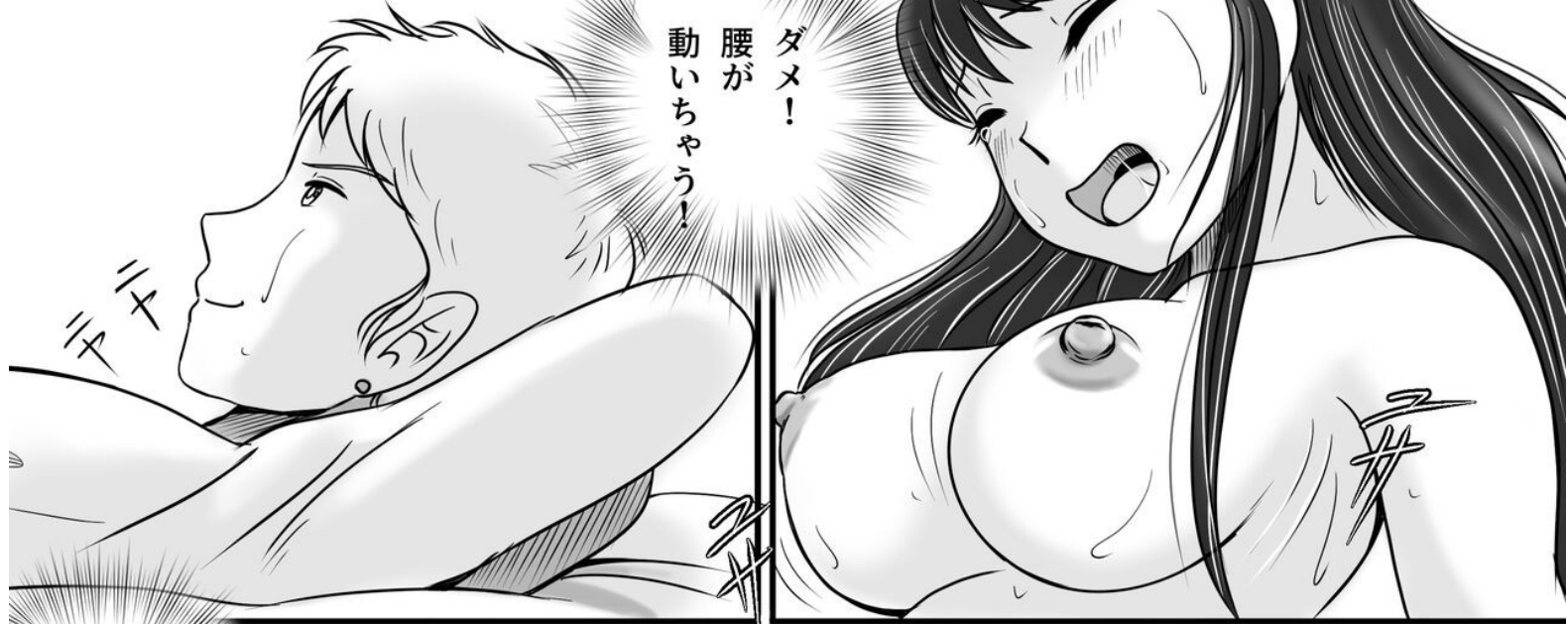
いいとこに
当たって…

あ
ん

あ
ん

気持ちいい！





ダメ！
腰が
動いちゃう！



たっ君じゃ
当たらない
ところに…

河野さんの
たっ君より…

ずっと
気持ちいい！



唯花ちゃん
見てごらん。

やだ、

繋がってるとこ
全部撮ってるよ。

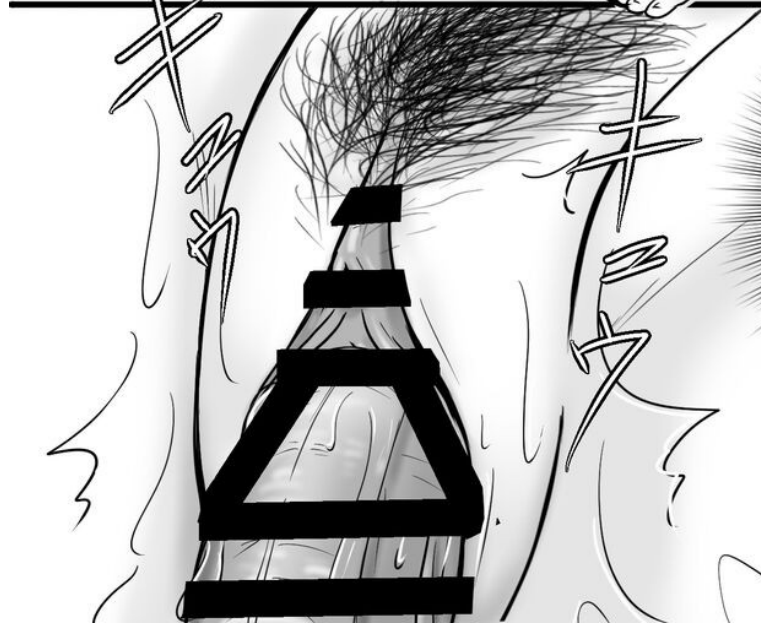
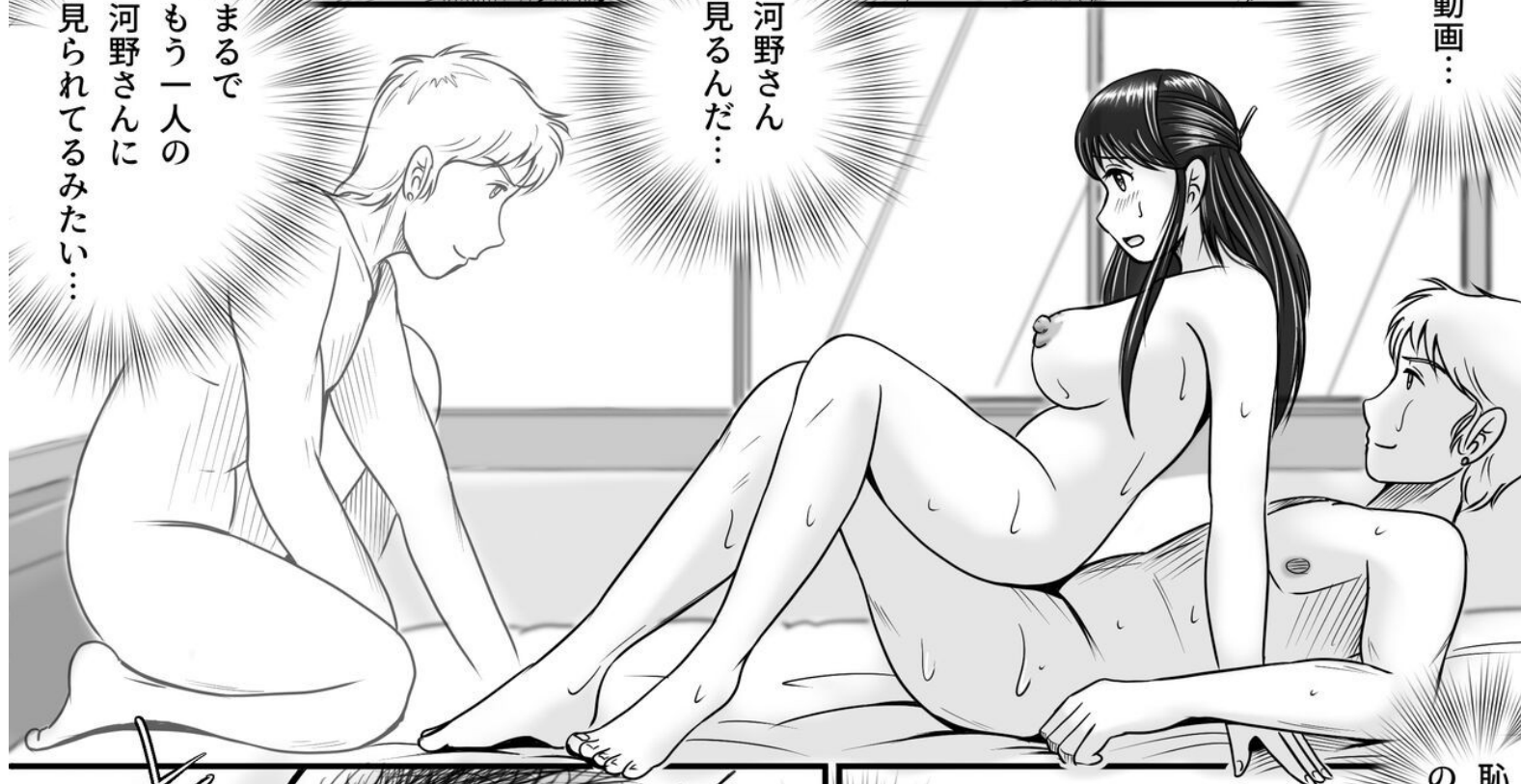
あの動画…

河野さん
見るんだ…

まるで
もう一人の
河野さんに
見られてるみたい…

恥ずかしい
のに…

凄く
感じちゃう…



撮られてるって
気づいたら
まんこ締めやがった!

やっ!

ダメ!

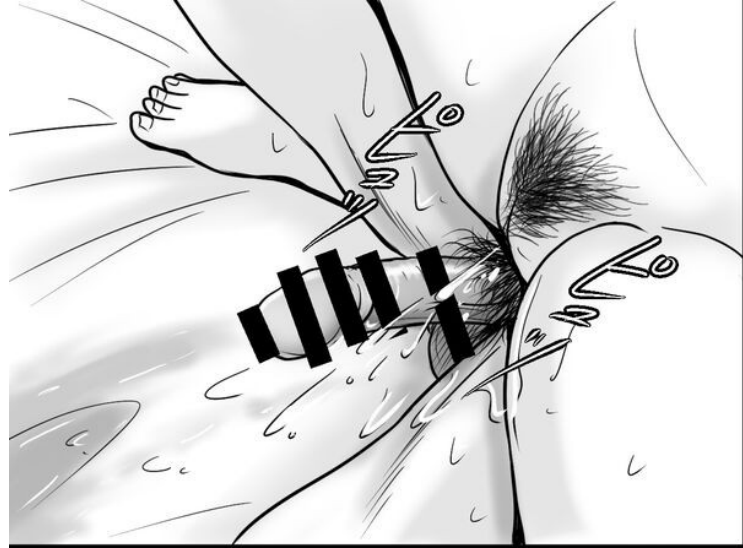
全く!
エロい女だ!

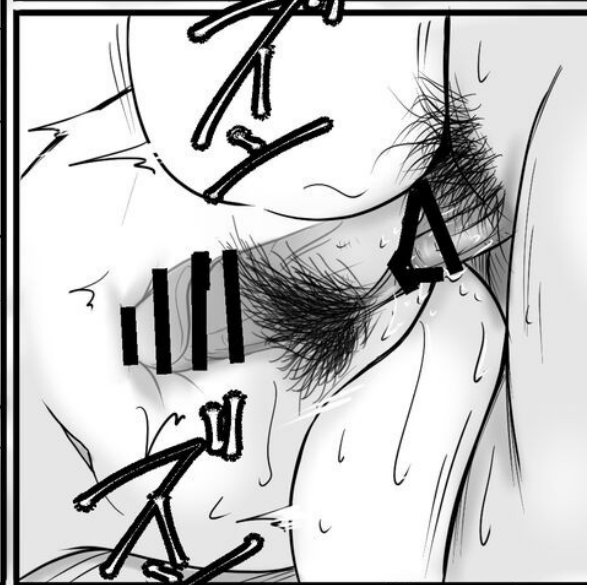
こんなエロい女は
お仕置きだ!

めえ

チャッ
チャッ







河野さん！

また
イキます！

唯花ちゃん
イキまくりだね。

河野さん！

あの…

はあ

はあ



私は、
もう十分に
いったので…

後は、
河野さんの
好きな時に
イってください。

はあ

はあ

唯花ちゃん、
そうはいかないよ。

二人で
気持ち良くなるのが
セックスだからね。

河野さん…

はあ

はあ

だから
唯花ちゃんも
もっと気持ち良くなって
良いんだよ。

んん

ググ

ググ

あ

んあ

私、
ほんとに
わかってた...

だめ

こうなる
事を...



だって
期待
してたから...

河野さんから
連絡あってから...

また
あの夜みたい

気持ち良く
してもらって



ずっと真面目に
生きて来た…
男の人も
たっ君だけ…

河野さんは
そんな私に
教えてくれた。

本当の
私…

いけない事だと
わかってる…

たっ君を
裏切っている事も
わかってる…

でも…

もっと、
もっと、
知りたい！
本当の私！



だから…
もっと…

ねえ
唯花ちゃん、

ナカで
イキたいんだけど。

ん

ナカは…

ナカは…
やっぱり
ダメです…

ふうん

じゃあ
いっぱい突いて

その気に
させて
あげるね！

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

唯花ちゃん！
奥を突かれるのが
大好きだよねえ！

いっぱい突いて
あげるから
いっぱいイキな！

好き！

す…！

あ
あ？

お、

奥…

好き！

グ
グ
グ

グ
グ
グ

グ
グ
グ

グ
グ
グ

グ
グ
グ

グ
グ
グ

グ
グ
グ

グ
グ
グ

足を
どかさないと…
ナカに
出されちゃう!

唯花!
唯花!

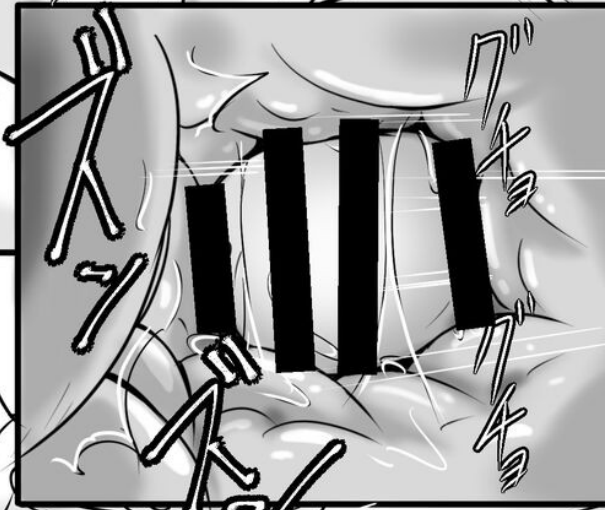
でも!
動かない!

河野さん!

出すぞ!
良いな!

唯花!

河野さん!







唯花ちゃん

中出し
初めてでしょ？
どうだった？

そう…
初めて…

河野さんの
精子で…

お腹が、
熱い…





すげー出た。
まんこから
溢れ出てるよ。



どうしても
足が動かなかった。
私、中に
欲しかったの!?











急な仕事で
出かけました。

彼女ほっといて
仕事か…

俺なんか

仕事ほっといて

唯花ちゃん

楽しませてるのに。

む

たっ君は
河野さんと違って
真面目なんです！

俺と違って
真面目ねえ…

ところで
唯花ちゃん、

ペンダントは
どうしたんだい？

ちゃんと
カバンに
しまってます。



送信
完了!

後は
唯ちゃんに...

早く
来るといいな。

こ、
河野さん!

んあ、

はあ、



あゝ

唯花ちゃん

あいつと
比べて
俺のちんこはどうよ！

こ、河野さんのが
奥に当たって…

気持ち
いいです！

だめえ



こ
河野さん！

あ

これ
凄いです！

唯花ちゃん！

あ

あいつと
比べて…

俺との
セックスは
どうよ！

た、たっ君と
比べて…

はあ

はあ



河野さんとの
セックスが…

ずっと
気持ちいいです。

はあ

はあ

良く
言った！

好きなだけ
いけ！

ご褒美だ！



唯花！

あゝ

また
中に出すからな！

いっ

いっ
いっ
いっ

いっ
いっ
いっ

いっ
いっ
いっ

いっ
いっ
いっ

いっ
いっ
いっ





ペンダント
ありがとう
ございました。

向こうに行っても
お仕事
頑張ってください。

それでは
失礼します。

お仕事頑張ってたか…
相変わらず
真面目だな。



俺とのセックスに夢中…
体は完堕ちてるところか…

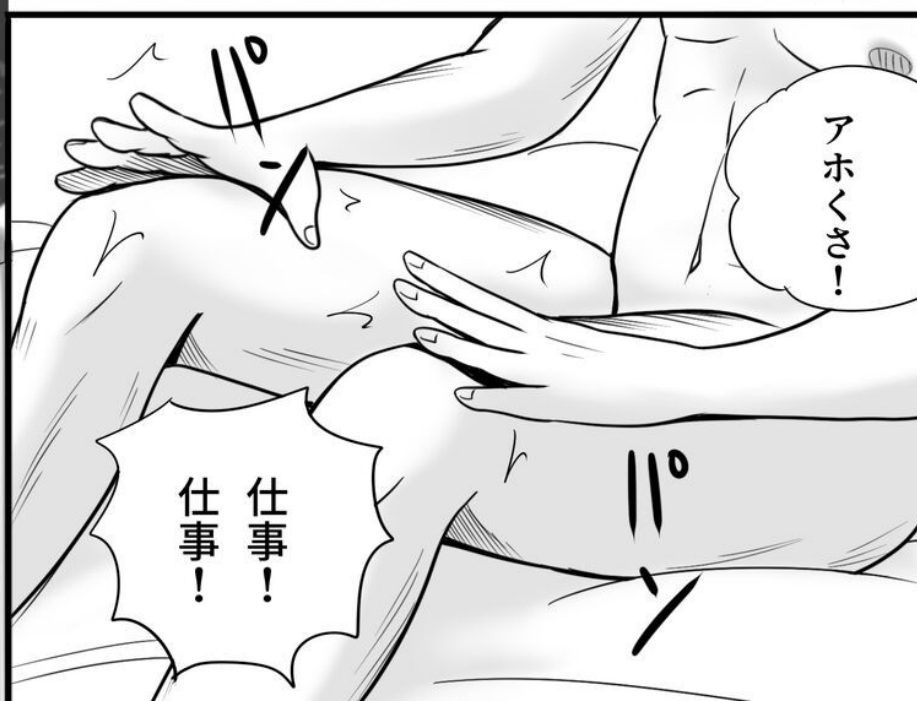
向こうに行くまでに心の方も
落とせると良いが…
何せ時間が…

あれ？
何マジに
なってんの？



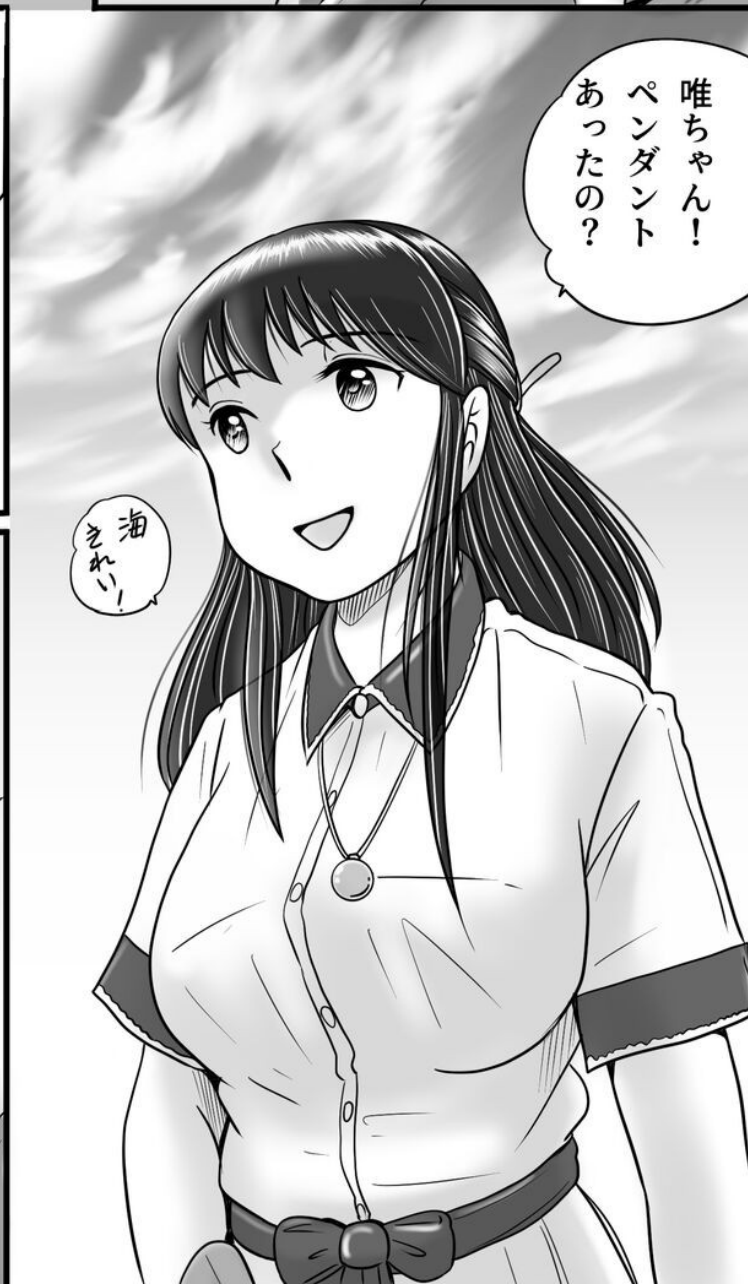
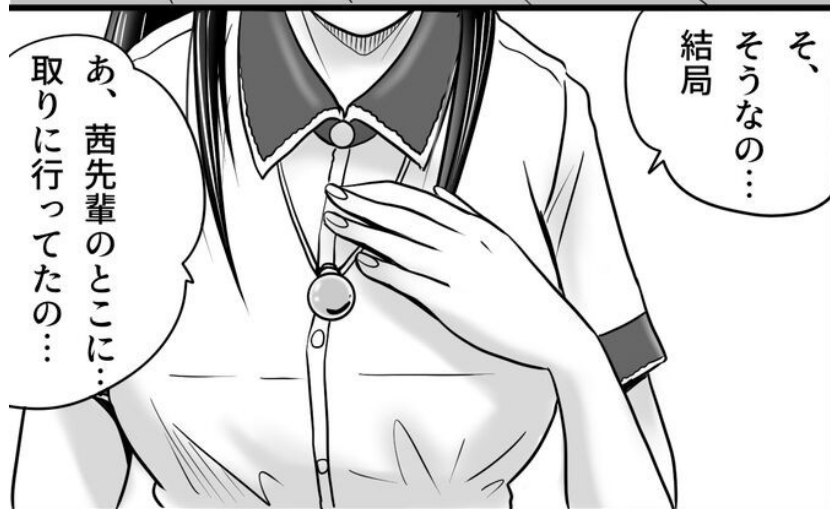
アホくさ！

仕事！
仕事！



たっ君
遅くなって
ごめん！







たっ君が
告白してくれた場所！

もちろん！



そんなはずは…
でも
とりあえず今は…



唯ちゃん

ここ
覚えてる？



桜坂唯花さん。



何々
急にどうしたの？

あのね
唯ちゃん…

桜坂唯花さん

僕と
結婚してください



ちょっと
早いかもだけど

ずっと一緒に
居たいから…

たっ

たっ君…



もつとちゃんとしたかったんだけど

頼んできた指輪が
今日、出来たって
連絡が来たんで…

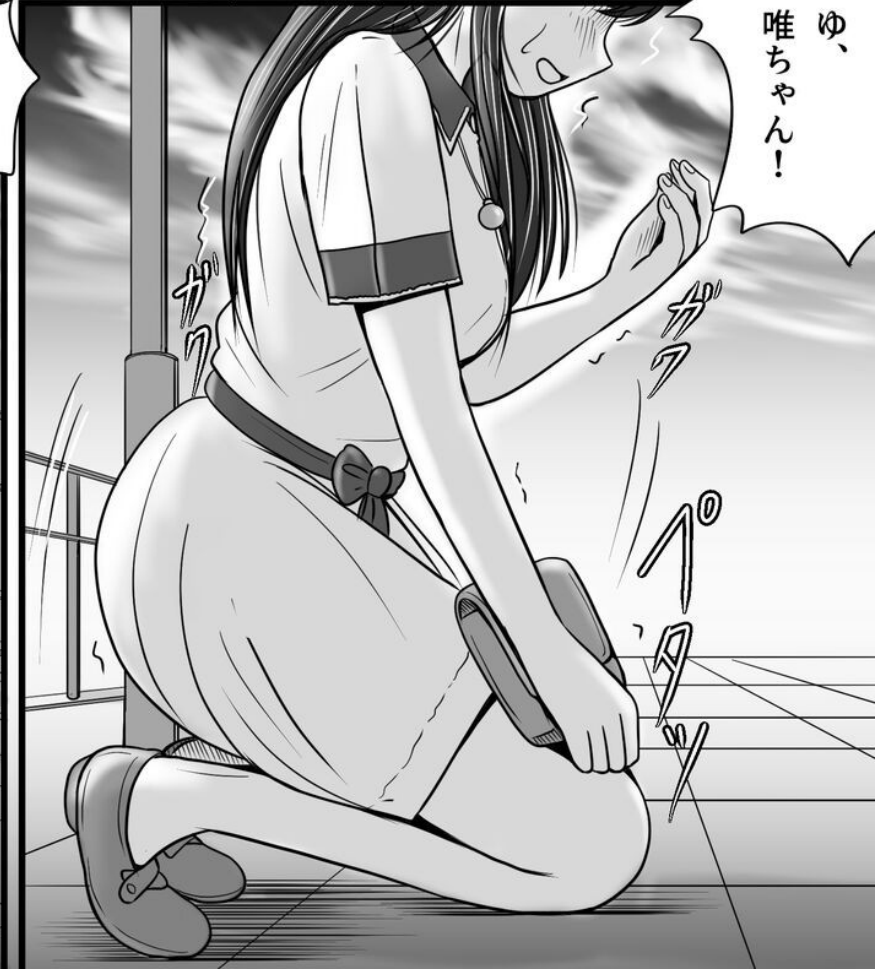
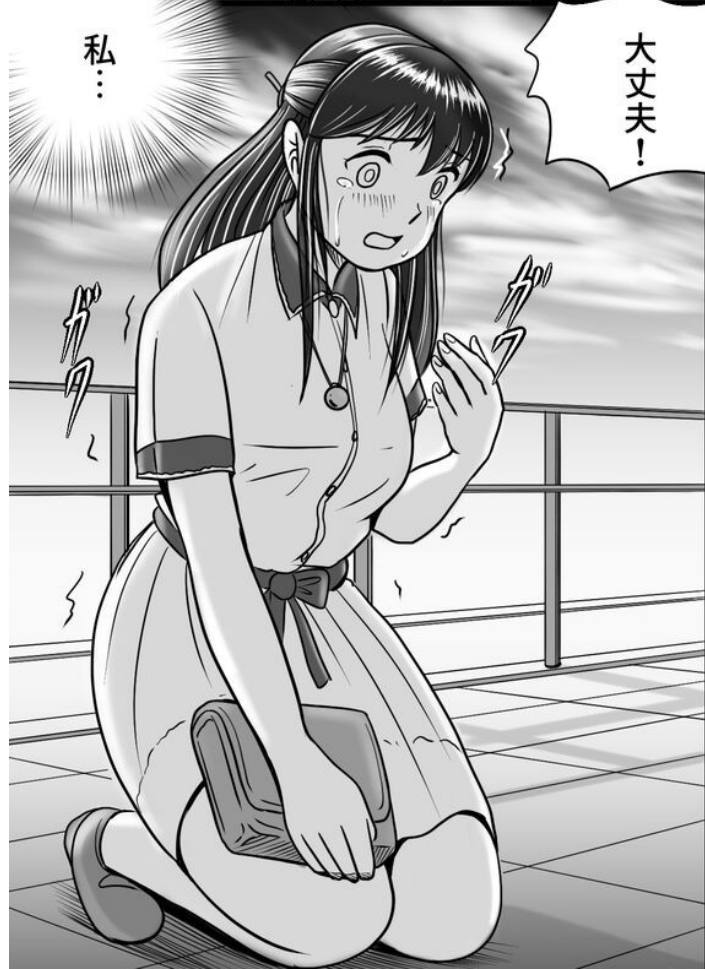
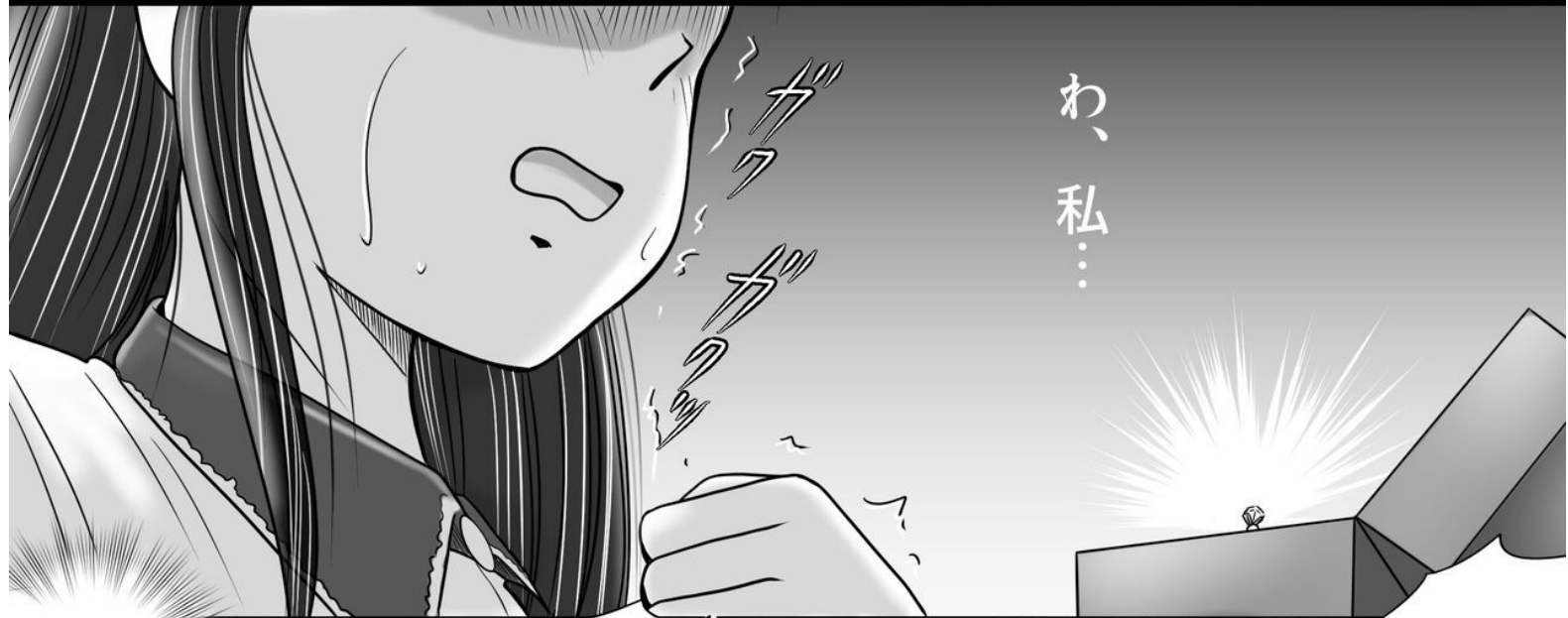
今日は、
そのために…

たっ君…
岬拓也さん！

もち…

！

たっ君



たっ君…
私…

唯ちゃん！

唯ちゃん！

とんでもない
事を…

つづく…















